

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人吹上苑
特別養護老人ホーム
やすらぎの家

令和4年度 事業報告書 目次

はじめに —事業の経過—	1
法人が実施する事業及び根拠法令	2
1 法人関係会議開催状況	3
2 事業別利用状況	5
3 利用者の状況	6
4 利用者の男女別年齢構成	8
5 入所申請件数	9
6 施設見学組数、事前面接件数	10
7 入退所・入所経路の状況	11
8 面会者数	12
各課報告	
9 介護課	13
10 看護課	14
(1)苑内診察等の実施内容	
(2)月別受診実績	
(3)入院・退院の状況	
(4)入院期間調書	
(5)入院者数及び入院日数等の推移	
11 リハビリ課	17
12 栄養課	22
(1)食事懇談会	
(2)年間栄養摂取量	
(3)行事食の実施状況	
13 生活相談室	28
(1)ケアカンファレンスの取り組み	
(2)入居者懇談会	
14 ボランティア・地域貢献担当活動報告	31
15 委員会・会議報告	
15-1 連絡調整会議	37
15-2 衛生委員会	38
15-3 安全衛生委員会	43
15-4 褥瘡予防委員会	45
15-5 入所検討委員会	47
15-6 事故苦情対策委員会	49

	(1)月別事故分析	
	(2)事故(ヒヤリハットを含む)内容別年度比較	
	(3)事故発生分析と予防対策	
	(4)時間別事故パターン分析	
15-7	身体拘束廃止・虐待防止委員会	55
15-8	サービスマナー委員会	56
15-9	研修委員会	57
15-10	食事委員会	60
15-11	広報委員会	61
15-12	排泄委員会	62
15-13	マニュアル策定委員会	63
15-14	行事委員会	64
15-15	入浴委員会	68
15-16	口腔ケア委員会	69
15-17	感染症対策委員会	70
	令和4年11月に発生した新型コロナウイルスクラスターのまとめ	
15-18	防火管理委員会	83
15-19	IT委員会	84
15-20	介護会議	85
15-21	介護課フロア会議	87
15-22	厨房会議	91
15-23	リハビリ会議	92
16	クラブ・レクリエーション活動報告	
16-1	編み物クラブ	93
16-2	料理クラブ	94
16-3	フロア装飾	95
16-4	華道クラブ	97
16-5	ボッチャクラブ	100
16-6	えがおクラブ	103
16-7	ホーム喫茶	105

はじめに 一事業の経過一

新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、当苑においても第8波において集団感染（クラスター）が発生しました。11月中旬から12月末にかけてご利用者61名および職員22名の感染が確認されました。感染対応中にご利用者に居室での生活をお願いしました。それでも感染拡大は簡単には収まらず、重症化された9名の入院、7名の死亡に至りました。また、新規入所およびショートステイの受け入れ、面会の中止など多くの制限をかけなければならない状況となりました。職員は防護服の着用を徹底し感染拡大を防ぐため、高い身体的、精神的負荷がかかる中での業務となりました。そのため年度末の賞与において全職員に対しコロナ対応にかかる報償手当を支給しております。備品の購入、手当にかかる費用、施設内療養のための補助金として「新型コロナウイルス感染症流行下におけるサービス提供体制確保事業」を活用しております。

令和4年度の財務管理において、事業活動計算書における経常増減差額の赤字を解消するため、大幅な支出削減を余儀なくされました。人件費の削減では、職員の皆様に物価高騰の中ご負担をお掛けすることは大変心苦しくありましたが、賞与支給率25%の減額にて対応することとなりました。事業費においては水道光熱費が大幅な上昇となり、ガス料金は60%増、電気料金は40%増と金額にして800万円ほどの負担増となりました。また、理事長からの大口寄附を施設整備積立金に積立て、そのうちから修繕費および固定資産の取得支出に充てています。法人全体でのサービス活動増減差額（営業利益）は前期比4,017万円増、経常増減差額（経常利益）は前期比4,004万円増、金額にして6万円とわずかではありますが黒字となりました。資金収支計算書においては当期資金収支差額合計が増収となったことで支払資金残高も1,129万円増加しました。資金ショートを防ぐためには今後貸借対照表中の現金預金残高を1億2千万円まで積み上げる必要があります。

ベッド稼働率をみるとクラスター対応のため新規受け入れとショートステイを止めていたことで年間平均前年比2%減少の95.3%の稼働となりました。また新型コロナウイルス感染に伴う入院も増え、年間延べ日数は913日と昨年比59%増となっております。今年度7月より見守り機器を活用した夜間の人員配置基準の見直しを行ったことで最大103床のベッドを稼働させることが可能になりました。しかしながら、今年度中は100床を超えるベッドの稼働日はほぼ無かったため、稼働率、稼働数の上昇は今後の課題となります。

財務管理において人件費は大部分を占めるコストではありますが、今後の事業運営を円滑に行うための人員配置検討は重要な課題であります。昨年比9.3%の減少を図ることができたため、今後の人件費削減のペースを緩め、新卒採用を含む人材育成に注力し、意欲のある職員、頑張った職員を評価することのできる人事評価制度、賃金制度の構築を進めていきます。

法人が実施する事業及び根拠法令

(1) 当法人が実施する社会福祉事業区分における拠点区分と当該拠点区分におけるサービス区分及び根拠法令等の内容

① 特別養護老人ホームやすらぎの家拠点区分

社会福祉法(昭和26年法律第45号、以下「社会福祉法」という。)第2条第2項第3号(第1種社会福祉事業)に規程する特別養護老人ホームやすらぎの家を中心に以下のサービス区分を含む拠点区分としている。

イ 法人本部サービス区分

理事会の運営及び監事の業務活動による経費、法人役員の報酬等その他の拠点区分に属さない経費及び収益について区分経理するために本部サービス区分を設けている。

ロ 特別養護老人ホーム やすらぎの家サービス区分

社会福祉法第2条第2項第3号(第1種社会福祉事業)に規定する特別養護老人ホーム

ハ 短期入所生活介護事業 やすらぎの家サービス区分

社会福祉法第2条第3項第4号(第2種社会福祉事業)に規定する老人短期入所事業〔介護保険法(平成9年法律第123号、以下「介護保険法」という)第8条第9項に規定する短期入所生活介護事業〕及びこれと一体的に行われている介護保険法第8条の2第7項に規定する介護予防サービス

1 法人関係会議開催状況

令和4年度法人関係会議等の実施状況について監事監査1回、理事会3回、評議員会1回をいずれも招集により開催しました。

5月に実施しました決算前の監事監査では自己点検チェックリストに基づき監事2名による会計と運営部門についてチェックを行っていただきました。

理事会は定款に基づき3回開催しいずれも定款細則に基づき理事長業務執行状況報告を行い、また、定款と経理規定に基づく議案について各理事会で提案し、承認されました。

定時評議員会も本年度は招集にて行い、社会福祉法及び経理規定に基づく令和3年度計算書類、財産目録について提案が行われ、承認されました。

監事監査実施内容

実施日	実施回	出席監事数 出席理事数	主な実施内容	備考
令和4年 5月26日	1回	監事 2名 理事 3名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告について ・令和3年度決算書類について ・令和3年度理事の業務執行状況について ・自己点検チェックリストに基づく確認 ・令和3年度事業運営に対する指導、助言 ・監査報告書作成 	

理事会・開催状況

開催日	開催回	出席理事数 出席監事数	主な議案	備考
令和4年 5月26日	—	理事 3名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告について ・令和3年度決算書類について ・令和3年度理事の業務執行状況について 	承認 承認 承認
令和4年 6月2日	第1回	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長業務執行状況報告 ・令和3年度事業報告書報告書について ・令和3年度「決算報告」及び「監事監査報告」及び「社会福祉充実残額報告」について ・定時評議員会を招集するための議案の決議について 	承認 承認 承認 承認

開催日	開催回	出席理事数 出席監事数	主な検討事項	備考
令和4年 10月26日	第2回	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長業務執行状況報告 ・ 社会福祉法人吹上苑に対する「大口寄付」について ・ 令和4年度資金収支予算書第1回補正予算について ・ 育児・介護休業法改正に伴う「育児休業等に関する規程」の改正について 	承認 承認 承認 承認
令和5年 3月30日	第3回	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長業務執行状況報告 ・ 令和4年度収支予算書、第2回補正予算について ・ 令和5年度事業計画について ・ 令和5年度収支予算書について 	承認 承認 承認 承認

評議員会開催状況

開催日	開催回	出席評議員数	主な審議議案	備考
令和4年 6月22日	第1回	評議員6名 欠席評議員1名 説明理事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度計算書類及び財産目録の承認について 	承認

2 事業別利用状況

1. 特別養護老人ホームの利用状況〔定員：100床〕

令和5年3月31日現在

	月末現在 在籍者数	定員 100 名の 延人（日）数	実入所延人員 （利用延日数）	利 用 率（％）		入 院 の 状 況（人）			
				当月利用率	平均利用率	延人員	延日数	換算	通算平均人員
4月	95人	3,000/3,000	2,771/2,771	92.4%		2	47	1.6	
5月	97人	3,100/6,100	2,975/5,746	96.0%	94.2%	3	76	2.5	2.0
6月	98人	3,000/9,100	2,840/8,586	94.7%	94.4%	4	94	3.1	2.4
7月	99人	3,100/12,200	2,986/11,572	95.1%	97.3%	3	63	2.0	2.3
8月	95人	3,100/15,300	2,948/14,520	95.1%	94.9%	2	62	2	2.2
9月	98人	3,000/18,300	2,885/17,405	96.2%	95.1%	2	35	1.2	2.1
10月	98人	3,100/21,400	2,987/20,392	96.4%	95.2%	1	31	1.0	1.9
11月	95人	3,000/24,400	2,892/23,284	96.4%	95.4%	1	8	0.3	2.0
12月	90人	3,100/27,500	2,772/26,056	89.4%	94.7%	9	72	2.3	2.0
1月	96人	3,100/30,600	2,716/28,772	87.6%	94.0%	10	155	5	2.3
2月	97人	2,800/33,400	2,538/31,310	90.6%	93.5%	7	145	5.2	2.4
3月	97人	3,100/36,500	2,872/34,182	92.6%	93.6%	5	125	4.0	2.5
計	1,156人		34,182人				913	2.5	
平均値	96.3人		93.6人		93.6%				
前年度 平均値	96人		95.3人		95.3%				

2. ショートステイの利用状況〔空床3床〕

令和5年3月31日現在

	利 用 延実人員	定員 3 名の 延人（日）数	利用延人（日）数	利 用 率			施設全体平均利用人数 （特養＋ショート）
				当 月	通 算 平 均	青梅市通算	
4月	6人	90/90	51/51	56.7%		75%	94.0人
5月	9人	93/183	58/109	62.4%	59.6%	75%	97.8人
6月	11人	90/273	61/170	67.8%	62.3%	75%	96.7人
7月	8人	93/366	64/234	68.8%	63.9%	75%	97.6人
8月	13人	93/459	69/303	74.2%	66.0%	75%	96.6人
9月	11人	90/549	72/375	80.0%	68.3%	75%	98.1人
10月	9人	93/642	66/441	70.9%	68.7%	83%	96.3人
11月	4人	90/732	53/494	58.8%	67.5%	96%	96.4人
12月	1人	93/825	2/496	2.2%	67.8%	100%	89.5人
1月	2人	93/918	10/506	10.7%	55.1%	100%	87.9人
2月	4人	84/1002	35/541	41.7%	53.9%	100%	91.8人
3月	5人	93/1095	48/589	51.6%	53.7%	80%	94.2人
計	83人	1095日	589人		53.8%		95.3人
前年度	75人		654人				

※ 年間1日平均利用者数（特養＋ショート）→ 95.3人（前年度平均：97.0人）

3 利用者の状況

令和5年3月末現在の保険者数は、下表のとおり21保険者となっています。令和4年度保険者総数は26保険者でした。

定員100名に対する月末の平均在籍者（入院者を含む）96.3名は、前年度実績の月平均96名と比較し在籍者は横ばいとなっています。

保険者別では青梅市の利用率が一番高い理由として地元であると同時にショートステイを利用しながら在宅でのケアを行い、徐々に認知症等の進行により、在宅ケアが困難となり入所となるケースが多いことが挙げられます。入所申し込みの傾向として埼玉県からの問い合わせ、申請が増え入所に至っています。

また、事前面接を実施し入所までになかなかつながらないケースもあり、それぞれの保険者や包括、居宅サービス事業所、近隣の医療機関等との情報の交換も積極的に行い、入所に繋がるよう努めました。

最近では女性待機者より男性待機者が増え、また胃瘻、透析、鼻腔栄養、在宅酸素、ストマ等といった医療依存度の高い方や若年性の方、徘徊といった認知症状が強くみられ在宅生活困難者の入所希望者が増加しています。

受け入れ態勢についても感染予防の徹底や受け入れ時のPCR検査を実施し施設内での感染予防対策も同時に行ってきました。待機者が減少している中で、老健や医療機関、居宅支援事業所等との連携を図りながら入所者の受け入れをスムーズに行えるよう、待機者の動向を見ながら待機者の動向を見ながら行っています。

単位：人 各月：月末現在

月 保険者名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月延人員	利用率	
青 梅 市	31	31	32	33	33	35	35	36	34	36	36	35	407	33.9	%
府 中 市	10	11	11	10	11	10	10	9	8	8	11	11	120	10.0	%
調 布 市	16	15	15	16	15	15	15	16	16	15	13	13	180	15.0	%
国 立 市	10	10	10	10	10	10	10	9	8	8	8	8	111	9.3	%
羽 村 市	8	9	9	9	8	8	7	6	6	7	7	7	91	7.6	%
杉 並 区	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	19	1.6	%
相 模 原 市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
東 村 山 市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
西 東 京 市	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	69	5.8	%
昭 島 市	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7	0.6	%
立 川 市	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2	2	9	0.8	%
狛 江 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0.3	%
太 田 区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0.3	%

武蔵村山市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	14	1.2	%
福生市	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.3	%
台東区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
小平市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0.3	%
あきる野市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10	0.8	%
小金井市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
瑞穂町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
八王子市	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	8	0.7	%
品川区	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.3	%
飯能市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	15	1.3	%
武蔵野市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
足立区	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.3	%
世田谷区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1	%
合計	95	97	98	99	95	98	97	95	90	96	97	97	1,154	96.2	%

4 利用者の男女別年齢構成

R5. 3. 31 現在

区 分	性 別		計
	女 性	男 性	
64 歳 以下	0 人	0 人	0 人
65 歳 ～ 69 歳	1 人	0 人	1 人
70 歳 ～ 74 歳	3 人	2 人	5 人
75 歳 ～ 79 歳	5 人	8 人	13 人
80 歳 ～ 84 歳	8 人	5 人	13 人
85 歳 ～ 89 歳	19 人	8 人	27 人
90 歳 ～ 94 歳	23 人	4 人	27 人
95 歳 ～ 99 歳	9 人	1 人	10 人
100 歳 以上	1 人	0 人	1 人
合 計	69 人	28 人	97 人

[参 考]

R5. 3. 31 現在

区分	性別		全 体
	女 性	男 性	
最高年齢	96 歳	102 歳	102 歳
最少年齢	68	73	68
平均年齢	88.3	83.4	86.11
前年度 平均	88.2	81.9	86.4

令和5年3月末日現在におけるご利用者の男女別年齢構成は、上記のとおりです。

平均年齢は、男性83.4歳に対し、女性は88.3歳となっていますが、平均年齢は前年度に比べ女性は0.1歳、男性は1.5歳引き上がっています。また、男女の平均年齢差は4.9と男女の年齢差が少し縮まっています。

80歳以上のご利用者は78名で全体に占める割合は80.4%、90歳以上では38名39.2%と昨年より上昇しています。95歳以上では、男性のご利用者1名に対し女性利用者は10名となっておりますが、男女共に高齢化率は上昇傾向にあります。

5 入所申請件数

月別 保険者	青梅市	府中市	調布市	国立市	羽村市	他市	計
4月	2	0	3	0	0	4	9
5月	3	0	0	1	0	8	12
6月	3	0	1	0	0	8	12
7月	1	1	1	0	0	4	7
8月	3	1	1	0	0	10	15
9月	4	0	1	0	0	5	10
10月	1	0	0	0	0	7	8
11月	1	1	0	0	1	4	7
12月	0	0	0	0	1	6	7
1月	0	0	0	0	0	1	1
2月	1	0	1	0	0	5	7
3月	1	0	1	0	1	4	7
令和4年度計	20	3	9	1	3	66	102
令和3年度計	20	12	10	3	3	66	114

6 施設見学 組数、事前面接 件数

	施設見学 組数	事前面接 件数
4 月	3	2
5 月	5	1
6 月	0	0
7 月	0	1
8 月	3	4
9 月	5	3
10 月	2	1
11 月	0	2
12 月	4	0
1 月	3	0
2 月	4	0
3 月	6	0
計	35	14

7 入退所・入所経路の状況

R5.3.31 現在

区分 月	入 所 経 路			退 所 理 由			比較	月末の在籍者数		
	自宅等	病院等	計	死亡	長期入院等	計		男	女	計
4	2	1 老健 0	3	3	0	3	0	28	67	95
5	0	0 老健 2	2	0	0	0	2	29	68	97
6	0	1 老健 1	2	1	0	1	1	29	69	98
7	0	1 老健 0	1	0	0	0	1	29	70	99
8	0	1 老健 0	1	5	0	5	▲4	28	67	95
9	3	1 老健 0	4	1	0	1	3	30	68	98
10	1	0 老健 0	1	1	1	2	▲1	30	67	97
11	0	1 老健 1	2	4	0	4	▲2	28	67	95
12	0	0 老健	0	5	0	5	▲5	25	65	90
1	2	5 老健 1	8	2	0	2	6	27	69	96
2	3	2 老健 0	5	4	0	4	1	27	70	97
3	1	0 老健 0	1	1	0	1	0	28	69	97
計	12	13 老健 5	30	27	1	28	2			
比率	40.0%	60.0%	100%	96.4%	3.6%	100%				

令和4年度の1年間の新規入所者30名の入所前の状況は上記のとおりです。

経路としては自宅（有料ホーム含む）から12名で40.0%、病院から13名、介護老人保健施設からは5名で60.0%となっています。

また、退所者の総数は28名ですがそのうち1名、長期入院により退所されました。死亡による退所については多くの方が終末期の看取りケアにより、ご家族様の協力を得ながら、できる限り心地の良い空間でその人らしく暮らし、施設内で安らかな終末を迎えられています。

8 面会者数

令和4年度の各月の面会者数は以下の通りとなっております。面会方法は外からの窓越し面会、1日5組、3人以内、1回15分とし、感染予防に努めてきました。

令和4年7月23日には職員3名がPCR検査で陽性となったため、7月24日より面会制限を実施し、令和4年11月9日に職員1名、13日に利用者1名陽性となったため、本年度2回目の面会制限を行い施設内のクラスター終息後、令和5年1月10日より窓越し面会を再開しました。

この影響により令和4年8月・9月および令和4年11月・12月の面会者数が少なくなっています。

(月別)

	組数	大人	中学生	小学生	幼児	乳幼児	人数合計
令和4年4月	68	138	1	2	2	0	143
令和4年5月	85	168	3	3	3	1	178
令和4年6月	73	144	1	4	1	0	150
令和4年7月	66	141	1	0	0	2	144
令和4年8月	11	25	0	0	1	0	26
令和4年9月	29	42	1	1	0	0	44
令和4年10月	74	156	2	0	2	1	161
令和4年11月	29	46	0	0	0	0	46
令和4年12月	1	1	0	0	0	0	1
令和5年1月	28	52	1	1	0	0	54
令和5年2月	72	147	1	1	1	0	150
令和5年3月	66	142	5	3	1	1	152
合計	602	1,202	16	15	11	5	1,249

9 介護課

令和4年度の介護課の事業計画として7項目を挙げました。

感染症の流行の懸念があり、基本とされる事を初心にかえり丁寧に確実に努めるということをお大切に考えたためです。年末に、新型コロナウイルス感染症の流行が発生しました。

日々、各部署と連携を取りながら、皆、必死な思いで対応してきました。

初めての対応の中、一人ひとりに、考えさせられることが多くあったのではないかと思います。経験した内容については、令和5年度へ繋がっていき、対応の更なる進化を遂げると思います。

また、ご利用者の状態として、重度といわれる方が多くなってきました。そのような中、計画に挙げた7項目、そしてご利用者の立場、気持ちに寄り添い、笑顔で向き合う、ということがどれだけできたのだろうかとお反省させられます。

介護者として、心身の自己管理も時に困難な時もあったように思われます。介護課は、チームケア、チームワークが必須です。そのためには、どのような言動が、ふさわしいのか、介護のレベルを上げるためには具体的にどのように努めるべきなのか、を考える一年となりました。

10 看護課

(1) 苑内診察等の実施内容

項目	実施日	対象者	内容
定期健康診断	年1回(9月)	利用者全員	採血・検尿・胸部X線・心電図等
	(夜勤を行う介護職員は 9月・3月 年2回実施)	職員全員	指定検査項目・腰痛検査
苑内診察	毎週 月曜日と金曜日	利用者	診察・治療・血圧測定・その他
苑内歯科診察	毎週 火・木曜日 午前	利用者	歯科診察・口腔ケア指導・義歯調整
精神科医診察	第1・3水曜日 午後	利用者	認知症入居者の理解、対応方法
泌尿器科診察	第2・4木曜日 午前	利用者	泌尿器科診察・看取り対応
インフルエンザ予防接種	10月中旬～12月上旬	利用者・職員	インフルエンザ感染予防のため
肺炎球菌ワクチン接種	7月～9月中旬	利用者	肺炎予防、年齢対象の利用者

(2) 月別受診実績

区分		月												計	備考
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
苑内 受診	内科診察	179	199	181	180	193	194	198	206	195	172	165	193	2,255	61名コロナ対応
	歯科診療	27	33	31	20	20	31	31	14	0	0	18	29	254	
	精神科医	45	51	52	51	48	50	49	52	46	44	46	47	581	
	計	251	283	264	251	261	275	278	272	241	216	229	269	3,090	
苑外 受診	内科	1	3	1	2		1	3	2	9	2		1	25	
	外科		5	1		1	5			1	3	3	2	21	
	整形外科	2	2	1				1			1	3	1	11	
	耳鼻咽喉科			1							1	1	1	4	
	眼科							3			3	6	2	14	
	皮膚科	1				2	2					5		10	
	婦人科							1						1	
	泌尿器科	46	36	36	38	38	37	38	34	35	29	34	32	433	訪問診察有
	精神科		1		1		1	1			1	1	1	7	
	神経科														
	歯科	17	16	17	12	11	13	9	4		9	11	12	131	訪問診察有
	その他	15	14	13	13	13	13	16	13	15	13	13	7	158	透析、検査
計	82	77	70	66	65	72	72	53	60	64	77	59	817		

オンライン診療導入により、新型コロナウイルス感染症感染拡大および施設内クラスター発生の中、産業医と連絡を密に取り、ご利用者の治療、職員の健康管理を行うことができました。また通院が困難な中、協力医療機関と連携を取り、施設内での酸素吸入や点滴を行い、ご利用者の診療にあたる事ができました。新型コロナ罹患後、後遺症による体調不良利用者の病院受診、入院の対応に努めてきました。

歯科医師の指導の下口腔ケアの充実により肺炎予防、口腔内トラブルの治療に努める事もできました。職員においては継続して定期的にPCR検査を行い感染予防対策に努めてきました。令和5年度も引き続き安心して生活が出来るように健康管理に努めます。

(3) 入院・退院の状況

内容		月												計	平均
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入院	入院者数	2	3	4	3	2	2	1	1	9	10	7	6	50	4
	入院延日数	141	97	171	192	235	270	133	8	76	220	327	357	2227	186
	平均入院者数	4.9	3.1	5.7	6.2	7.5	9	4.2	0.3	2.4	7	11.6	11.5	77.5	6.4
退院	退院者数	1	0	3	1	0	1	1	1	2	4	3	3	20	1.6
	退院者の入院延日数 (日)	115	0	89	41	0	168	133	8	11	38	97	46	746	62
	1回当たり平均入院日数 (日)	115	0	30	41	0	168	133	8	6	10	32	23	566	47

(4) 入院期間調書

入院日数	件数	
～14日	7	35 %
15日～29日	6	30 %
30日～59日	4	20 %
60日～89日	0	0 %
90日以上	3	15 %
計	20	100 %

(5) 入院者数及び入院延日数等の推移

	月延入院人員	月平均人員	入院延日数	実人員換算	前年度比較	
					日数	実人員
H29年度	49	4.1	1131	3.1人	/	人
H30年度	61	5.1	1876	5.1人	745	2人
R1年度	47	3.9	1151	3.2人	-725	-1.9人
R2年度	39	3.3	1254	3.5人	103	0.3人
R3年度	37	3.1	834	2.3人	-418	1.1人
R4年度	50	4.2	2227	6.1人	1393	3.8人

令和4年度の利用者の入退院状況は上記のとおりです。

入院者の年間延入院日数は2227日であり、入院者数(延)は前年より大幅に増加しました。これは介護度が上がり重度化したり、また急変のリスクが高く入院加療、長期加療を希望する利用者(家族)が増えていること、また年度後半に施設内新型コロナウイルス感染症クラスターとなり、罹患後後遺症により療養型病院に長期入院のご利用者もいたためです。

この1年で入退院した利用者の内訳は上記(4)表のとおりです。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大により受入れ病院の病床状況で受け入れていただけないケースや新型コロナウイルス感染症施設内クラスターもあり通院困難となりました。協力医療機関と連携し施設内で出来る範囲の治療を行ったり、新型コロナウイルス感染症罹患患者に対しては高齢者等医療支援施設に入所されたり、後遺症のため療養型病院に長期入院となるケースもありました。

入院延日数を実人員換算すると、年間平均で入院者は4.2名と大幅増となります。先に述べたように新型コロナウイルス感染症が大きく関わっています。病院受診を希望し一時入院され、その後施設での看取りを希望し退院されてくるご利用者も増えています。

また口腔ケアの充実により誤嚥性肺炎での入院者が減少となっています。今後も感染予防に努め利用者の健康管理、疾病の早期発見に努め適切な対応をしていきます。

11 リハビリ課

I 令和4年度事業計画の代表的な計画一覧

1. シーティング・ポジショニング用品の充実化と対応、適切な車椅子使用の評価と選定
2. 食事における椅子での座位ケアの推進、食事介助介入による評価
3. ご利用者の機能訓練内容を日常生活へ活かすための介護職員への指導
4. 認知症の行動・心理状況に対する緩和ケア
5. PCDA サイクルによる評価及び定期的な計画、訓練内容、日常生活の過ごし方の見直し
上記項目を令和4年度事業計画として立案しました。

II 令和4年度事業計画の実施状況

1. シーティング・ポジショニング用品の充実化と対応、適切な車椅子使用の評価と選定
 - (1) シーティング・ポジショニング用品及び車椅子の状況を調査
 - (2) 選定に関する情報収集
 - (3) 車椅子の選別、新たな機能付き車椅子の入れ替え、導入
 - (4) 必要に応じてポジショニング、シーティングの申し送り表を作成
2. 食事における椅子での座位ケアの推進、食事介助介入による評価
 - (1) ご利用者の体格、姿勢に合わせた食事のための椅子、テーブルの選定
 - (2) 食事介助介入による食事、姿勢評価、自助具の選定、作成等の実施
3. ご利用者の機能訓練内容を日常生活へ活かすための介護職員への指導
 - (1) 勉強会の実施
 - a. 職員、ご利用者の負担軽減目的としたスライディングボード及びリクライニング車椅子のご利用者を対象としたフレックスボード研修会
 - b. ベッド上での姿勢修正を行う際に職員、ご利用者の負担軽減を目的としたスライディングシートの試験導入
 - (2) 引き続きリハビリ課から発信する内容
 - a. ポジショニング関係
 - b. 持ち上げない介護を意識したトランスファー関係
 - c. 主に介護職員の腰痛予防対策関係
 - d. 車椅子、椅子上でのシーティング関係
 - e. その他、必要に応じてADLに関する事
4. 認知症の行動・心理状況に対する緩和ケア
 - (1) 利用者様に対する気分転換
 - (2) 身体のリラクゼーション

(3)傾聴

※5.集団リハビリについて

- (1) 集団リハビリ回想法
- (2) 屋外での園芸療法による季節感など見当識の確認、外気刺激による刺激入力
- (3) ドッグセラピーを用いた精神的ケア及び情動の表出
- (4) 集中リハビリ、作業療法の実施
- (5) 動画鑑賞会・リラクゼーションの実施

III 令和4年度事業計画の成果・反省点

1. シーティング・ポジショニング用品の充実化と対応、適切な車椅子使用の評価と選定

(1)シーティング・ポジショニング用品及び車椅子の状況の調査

成果としては、新たに丸洗いが可能な抱き枕の導入を行いました。汎用性があり今後も一定数の導入も検討していきます。また、エアマットの故障が目立ち、本来の機能を果たせていないため、業者への修理依頼を行い7割程度修理は行う事ができました。

反省点としてはクッションなど計画的な購入が行えず、ご利用者へ適した提供が行えませんでした。

(2) 福祉用具選定に関する情報収集

今年度も国際福祉機器展への見学に行き、業者から説明を受けることにより見識を広める事が出来ました。また、福祉用具を購入の際に業者との細かい話し合いもできるようになり選定などもスムーズに行えるようになりました。

(3)車椅子の選別、入れ替え、導入

車椅子に関しては、材料高騰や施設での新型コロナウイルス感染の発生による全体的なADLの低下もありチルト型車椅子を5台購入しました。また東京善意銀行様より車椅子の補助金制度を受けることとなりチルトリクライニング車椅子を1台導入しております。

今年度、特に年数が経ち、修理が容易でない車椅子を4台処分しました。まだ使用できると使い続ければ乗る事が出来ても快適さなどが失われ結果的に褥瘡の原因や適したシーティングなどを行えなくなるなど弊害がある為、早くに計画的な処分を行うべきだった。

(4) 必要に応じてポジショニングの申し送り表を作成

ポジショニングやシーティングの申し送り表に写真を添えた文書を作成することにより、視覚的に他職種にも伝わりやすくなるような工夫をします。しかし、その後のフィードバックを持つ機会が少なかったことが課題としてあげられるため、今後、様子観察や情報収集の機会を増やしフィードバックの機会を増やせるように取り組んでいきます。

2. 食事における椅子での座位ケアの推進

食事介助時、姿勢保持や食事摂取の状態を観察、評価をします。

必要に応じて食事時の姿勢を保てるような補助具、食事動作自立への助けとして自助具の作成を行いました。

食事介助への介入時に介助に集中してしまい周囲への注意不足がありました。フロアのご利用者全体に目を向け状態観察を行えるように意識して介入をしていきます。

3. ご利用者機能訓練内容を日常生活へ活かすための介護職員への指導

ADL の低下防止や機能向上の一つとして生活リハビリ指導を行います。特に今年度は施設内での新型コロナウイルス感染が発生したため、ご利用者の日常生活の制限もあり離床などの行う際の方法など負荷量のかけ方などの発信を行う事ができました。

4. 介護負担の軽減対策

令和 4 年度も引き続き腰痛予防のための研修を発信し職員への身体的な負担軽減に努めました。また、新たにベッド上での姿勢直しの負担を軽減するためにスライディングシートの導入を行った。最近の新規ご入所者の傾向として大柄の方もよくいらっしゃることもありスライディングボードやフレックスボードの使用頻度が前年度より増えている様子が伺えた。

5. 集団リハビリ

(1) 集団リハビリ回想法

令和 2 年度より毎週第 1～4 木曜日に行っている集団リハビリも 2 年以上経過し試行錯誤しながらも形になってきています。体操・回想法を軸に行っていますが回想法については季節や最近の話題だけではなく、ご利用者の幼少期や若いころの時代を深く理解することにより、印象に残る内容を提供できるようになりました。また、ご利用者の集中を切らせにくいような話の流れを作ることもできるようになってきた。反省点としては内容が一部重複してしまう、内容が単調になる事があるので研鑽を積んでいきたい。

(2) 屋外での園芸療法と外気浴

花や野菜などご利用者に土と触れ合っていただく作業療法、外気浴を意識して取り組みました。できた野菜は、調理課に協力を依頼し夕食などの1品に加えていただきました。今年度はJAよりバケツ稲を提供していただき、ご利用者1人1人に名前入りで稲の成長を見守ってもらいます。収穫後はしめ縄などの制作リハへ活用するなど有効に使うことができました。

バケツ稲や園芸療法は障がい者雇用課、相談室、調理課など関係各所の協力と連携をもって行うことができました。

(3) ドッグセラピー

前年度より継続して実施しています。新型コロナウイルス感染症の影響と職員の人員確保が難しい事が多かったため、多く実施は出来ませんでした。前年度の課題の同じご利用者が対象にならないように臥床時間が多いご利用者にも参加の機会を設ける事ができました。また、個別リハビリでもドッグセラピーを行っています。

(4) 作業リハビリの実施

新型コロナウイルス感染症防止対策として、席配置の工夫やフロア別での対応などがある中で、ご利用者にあった作業内容をPDCAサイクルに基づき実施し、制作の作業内容や書道（硬筆・毛筆の選択）内容を工夫し作品作りを実施しました。今後も、更により良い方法を模索し実施をしていきます。

(5) 集中リハビリの実施

ご利用者の発話や表情に変化が生まれ、自主的な行動遂行を促しました。ご利用者にあった作業内容をPDCAサイクルに基づき実施し、また少人数制とすることで、対象となるご利用者に、より関わりを持つ時間を設けることができました。今後も、様々な視点を持ちながら取り組みの継続を目指していけたらと考えます。

(6) 動画鑑賞会およびリラクゼーションの実施

現在、音楽療法が実施できない中で動画鑑賞会の実施によりご利用者の参加や離床機会を設けました。他部署へ協力を依頼しながら、対象者を選出し可能な限り、普段余暇活動への参加機会が少ないご利用者を中心に活動へ参加していただきました。またリラクゼーションでは、会場後方へスペースを設け、芳香浴としてアロマを焚き、その中で足浴やホットタオルにて保温をし、ベビーオイルを使用しオイルマッサージを実施しました。今後もより良い方法を模索しながら活動を継続していけたらと考えます。

IV.介入人数

以下に令和元年度からのリハビリ介入延べ人数を示す。

表1 リハビリ介入延べ人数(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R1	377	325	342	334	189	150	173	55	50	30	45	48	2118
R2	20	137	297	273	346	319	454	535	592	463	488	532	4456
R3	571	512	580	570	509	541	674	620	669	629	621	698	7194

表2 令和3年度 リハビリ個別、集団の介入詳細人数(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個別	430	373	409	359	309	365	436	428	493	487	477	501	5067
集団	141	139	171	211	200	176	238	192	176	142	144	197	2127
合計	571	512	580	570	509	541	674	620	669	629	621	698	7194

表3 令和4年度 リハビリ個別、集団、作業の介入詳細人数(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個別	449	429	352	500	371	420	457	385	682	375	367	420	5207
集団	56	33	16	7	43	18	13	0	0	13	32	73	304
作業	204	170	163	136	139	238	193	65	0	111	111	100	1934
合計	709	632	531	643	553	676	663	450	682	499	510	592	7445

※令和元年度は8月まで理学療法士・作業療法士が実施、9月は作業療法士、機能訓練専従看護師、10月は看護職員1名を機能訓練指導員とし対応、3月、令和2年度4月は理学療法士対応の人数です。

令和2年度5月はマッサージ師のみ対応の人数です。6月より理学療法士、柔道整復師、マッサージ師の対応の人数です。

令和3年度以降は理学療法士、柔道整復師、マッサージ師3人体制で対応しております。表2について集団リハビリの実施が本格化した為、個別と集団の比率を数値化して表示しています。

表3について令和4年より個別、集団の他に作業療法を独立させ集計をとっています。また令和4年11月～令和5年1月は施設内での新型コロナウイルス感染症が拡大し介護課の業務への応援やご利用者のADL低下を懸念し、短時間で多くのご利用者へ介入するため、生活リハビリを実施し、密を避けるため、集団、作業リハビリは中止しておりました。

12 栄養課

食事を美味しく召し上がっていただき、心と身体の栄養に繋げる為には、どうしても良いか、日々探求心を持って前向きな姿勢で取り組んできました。「食事は自分の力で楽しく食べたい」これは誰もが望むことですが、加齢による機能の低下は避ける事ができません。その衰え方には、個人差がある為「常菜」「一口大」「粗刻み菜」「刻み菜」「ミキサー菜」の5形態及び利用者の状態に合わせた対応をしました。また元気に過ごしていただく為にエネルギーやタンパク質を強化した献立を作り食事を提供しました。嚥下機能の低下している方には、高栄養食の導入（少量で栄養のある食事の提供）や一時的に食事量低下の方対象に療養食の実施をしました。これらの取り組みにより一層、栄養量の確保に努めています。

① イベント食の実施

月1回の「誕生日食」には赤飯や天ぷら、お刺身等の提供、「選択食」は肉料理・魚料理を選んでいただきました。敬老会には、味だけではなく、食欲が増すように盛り付けにもこだわりました。また、食事懇談会・嗜好調査で一番食べたい料理を伺い、希望にも応えています。以上本年度のイベント食は昨年同様コロナウイルスの影響の為、例年とは違う形の開催となりました。

② 水分補給ゼリー

1日に必要な水分を十分摂取できない利用者や、入浴後の水分補給の為のゼリー等を状況に応じて提供しました。

③ 服薬ゼリー

1日3回薬を安心して服用していただける様に、召し上がりやすい味で作りました。

④ 自助具や食器・スプーン

自立支援のため常備している介助食器、介護スプーン、汁物マグカップ、すべり止めマットに加え、スポンジグリップやプラスチックスプーンも用意し、幅広い個別対応をしました。

⑤ 嗜好調査

調査(2階利用者30名・3階利用者32名)は、令和5年3月3日～3月11日の期間実施しました。食事懇談会では意見が特定の利用者に偏る傾向がありますが、嗜好調査では個別の希望が直接聞くことができ、以前より細かい要求が増えています。現状としてはご利用者全員の意向は把握しづらいため、嗜好調査や食事懇談会を確認する事や食事摂取量・提供時のラウンドも行い、ご利用者が満足できる食事内容にしています。

⑥ 食事懇談会

令和4年度も利用者の嗜好や普段の食事についての要望・質疑応答や意見を直接聞くために食事懇談会を実施しました。今年度の料理クラブは新型コロナウイルス感染状況に合わせた対応となりました。その中での開催は各フロア一別々に少人数で行ったことを報告しました。また要望の多いフレンチトースト・天ぷら・刺身の回数を増やし、希望に沿った内容であることを伝えていきます。他にも食中毒の予防についての確認や衛生面での注意点を説明しています。

ご利用者からの意見がたくさんあり、応えられないこともあります。できる限り意向を取り入れ、充実した食事の提供を目指していきたくと思います。

食事懇談会実施状況

実施日	参加人数	活動内容
第1回 令和4年 4月6日	2階利用者 21名 職員 7名 3階利用者 25名 職員 8名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の振り返り ①行事食 ②嗜好調査実施 ・ 今年度の予定について ①固形おやつ提供 ②生物提供時期 ③料理クラブについて ・ その他 ①利用者からの要望 ②まとめ
第2回 令和4年 6月1日	2階利用者 24名 職員 4名 3階利用者 24名 職員 9名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食中毒の予防について ・ 選択食について ・ 今後の予定 ①寿司の提供について ②料理クラブ ・ その他 ①利用者からの質問・要望 ②まとめ
第3回 令和4年 8月	/	職員に新型コロナウイルス感染者発生の為中止
第4回 令和4年 10月5日	2階利用者 21名 職員 6名 3階利用者 27名 職員 7名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月の行事食 ・ 今後の予定 ①選択食 ②誕生日食 ③お楽しみ食 ④生物提供の実施 ⑤焼き芋大会のおやつ ・ 料理クラブ開催について ・ 固形おやつ提供中止について ・ まとめ

実 施 日	参加人数	活 動 内 容
第 5 回 令和 4 年 12 月	/	コロナウイルス感染症感染拡大の為中止
第 4 回 令和 5 年 2 月 1 日	2 階利用者 14 名 職員 4 名 3 階利用者 21 名 職員 5 名	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対応について ・1月の行事食 ・今後の予定 ・利用者の要望・意見 ・まとめ

(2) 年間栄養摂取量

	熱量 Kcal	蛋白質 g	炭水化物 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミンA μg	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg	塩分 g
4月	1,379	62.9	185.5	48.0	614	8.0	586	0.70	1.02	69	8.1
5月	1,353	62.4	186.1	44.7	618	8.7	598	0.67	0.98	71	7.9
6月	1,390	61.8	186.7	49.1	610	8.6	586	0.73	1.00	87	8.0
7月	1,359	61.2	187.5	45.2	600	8.9	628	0.66	0.95	74	8.2
8月	1,395	61.8	184.8	50.3	598	9.0	610	0.73	1.00	54	8.3
9月	1,369	61.6	187.5	46.4	616	8.9	612	0.78	1.10	104	8.2
10月	1,365	61.1	184.3	47.3	612	8.9	546	0.72	0.97	68	8.1
11月	1,352	62.2	185.8	44.9	620	8.7	568	0.70	0.99	73	8.0
12月	1,399	63.5	187.2	49.4	620	9.0	568	0.69	1.01	77	8.1
1月	1,368	63.4	183.6	47.2	598	9.8	595	0.71	0.98	66	8.0
2月	1,372	61.5	183.8	48.5	610	8.2	619	0.73	0.98	77	7.9
3月	1,371	61.9	185.6	47.1	608	9.0	629	0.68	0.98	71	7.9
合計	16,472	745.3	2228.4	568.1	7324	105.7	7145	8.50	11.96	891	96.7
平均	1,373	62.1	184.7	47.3	610	8.8	595	0.71	1.00	74	8.1
基準値	1,350	59.7	183.0	42.0	600	10.0	1,000	0.80	1.00	100	8.0

(3) 行事食の実施状況

月	日	行事名	行事食の主な内容	備考
4	1	開設記念日	お赤飯・天麩羅(海老・薩摩・椎茸)・いくらと蕪の和え物 キウイフルーツ・若竹汁	4月6日 食事懇談会
5	5	端午の節句	ご飯・ねぎとろ盛り・茶碗蒸し・キャベツの胡麻和え グレープフルーツ・すまし汁(花麩) <おやつ> 柏餅	
	8	母の日	穴子の混ぜご飯・落と生揚げのそばろ煮・桜ん坊ゼリー 細筍の赤だし汁	
6	19	父の日	お赤飯・天麩羅(海老・野菜)・烏賊と胡瓜冥加の辛子味噌和え・オレンジ・すまし汁(星の麩)	6月1日 食事懇談会
7	7	七夕	七夕そうめん・豚肉と茄子の油味噌・青豆腐の薬味のせ・葡萄	
	23	土用の丑①	鰻蒲焼丼・胡麻豆腐・胡瓜トマトの酢の物 キウイフルーツ・すまし汁(花麩・貝割菜)	
8	4	土用の丑②	鰻梅ひじき丼・卵豆腐・烏賊胡瓜しその酢の物・オレンジ すまし汁(紅白半片)	8月 食事懇談会 開催中止
9	21	敬老会	お赤飯・金目鯛の西京焼き・天麩羅(海老・野菜) 炊き合わせ・大根の柑橘漬け・オレンジ・すまし汁(松茸)	
	23	秋分の日	きのこうどん・胡麻豆腐・手作りおはぎ	
10	23	お楽しみ食	松茸ご飯・天麩羅(海老・野菜)・烏賊胡瓜大葉の酢味噌和え・りんご・すまし汁(手鞠麩・万能葱)	10月5日 食事懇談会
11	27	お楽しみ食	サツマ芋御飯・むきかれの照り焼き・イクラのおろし和え・キウイフルーツ・なめこの赤だし汁	
12		クリスマスデザート	新型コロナウイルス感染症感染拡大ため中止	12月 食事懇談会 開催中止
	24	クリスマス食	ご飯・手作りチーズハンバーグ・サーモンサラダ・メロン ポタージュスープ	
	31	大晦日	天麩羅そば・さつま芋とプルーン煮・みかん	

1	1	お正月	赤飯・おせち盛り祝い菓子・お刺身盛り（鮭・カンパチ） いちご・紅白汁	
	2	お正月	鮭の親子丼・胡桃の彩り白和え・キウイフルーツ・すまし汁（蒲 鉾・万能葱）	
	3	お正月	ご飯・天麩羅（海老・野菜）・黒豆・りんご・けんちん汁	
	7	七草	七草粥・魚の粕漬け焼き・蓮根の金平・クリームフルーツ和え なめこの赤だし汁	
2	3	節分	ご飯・いわしフライ・ひじきの炒め煮・キウイフルーツ 鬼除け節分汁	2月1日 食事懇談会
3	3	ひなまつり	穴子ちらし・胡桃の彩り白和え・フルーツ寒天蜜かけ・潮汁（蛤） <おやつ>甘酒	3月 嗜好調査
	20	春分の日	わかめそば・胡麻豆腐・手作りぼた餅・沢庵漬	

誕生日食⇒毎月1回実施

栄養コラム⇒随時掲載

選択食の実施状況

選択食/日付	内 容
令和4年 6月9日	白身魚の甘酢あんかけ または 揚げ餃子甘酢あんかけ
令和4年 10月11日	コロッケ または 鶏から揚げおろしソース
令和4年 12月	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止
令和5年 2月22日	煮込みハンバーグ または 鮭フライ

13 生活相談室

(1) ケアカンファレンスの取組み

今年度は新型コロナウイルスオミクロン株が世界中で広がりを見せ、感染対策について油断は許されない状況でした。しかしその中でもご家族の協力のもと、感染対策をとりながら22件の対面でのカンファレンスを実施することができました。前年度同様に施設内で書面にて行う場合には、ご本人様はもちろん、ご家族様のご要望、ご意見については事前に電話や面会時に確認し、可能な限りケアプランに反映できるよう取り組み、急な状態の変化がある方や終末期の方に対して適宜ケアプランの見直しと変更を行いました。

退院後のケアプランについても、ご利用者様とご家族様の意向を尊重し、状態に合わせたケアプランとなるよう努めました。今後も感染状況を見ながら、できる限り対面でのカンファレンスを行い、ご家族様と職員とで共有が図れるよう取り組んでいきます。

令和4年度の実績は、次のとおりです。（参加率 14 % ）

実施月	モニタリング	カンファ実施者	参加ご家族数	実施月	モニタリング	カンファ実施者	参加ご家族数
4月	14	17名	0 家族	10月	16	18名	1 リモート 2 家族
5月	23	15名	4 リモート 1 家族	11月	26	14名	1 家族
6月	12	15名	5 家族	12月	12	14名	0 家族
7月	15	18名	3 リモート 1 家族	1月	13	15名	0 家族
8月	13	27名	0 リモート 3 家族	2月	10	32名	4 家族
9月	11	13名	0 リモート 1 家族	3月	10	16名	4 家族
合 計				175件 214名 30 家族			

(2) 入所者懇談会

今年度も引き続きご利用者と職員との懇談会を2か月毎に開催しています。時間は14時～15時頃に実施し、各階毎に30分ずつ開催しました。

今年度もコロナウイルス感染が世界中で広がっている中でしたが、昨年と同様に少しでも懇談会の中でご利用者の声に耳を傾け、可能な範囲で望んでいること、感じていることを限られた環境の中でどの様に対応ができるのかを試行錯誤しました。また、今年度は11月～1月中旬まで苑内でコロナ感染者が発症しクラスターとなってしまったことで数回中止となりました。コロナウイルスと共存しながら、ご利用者の希望等の確認を行い、少しでも希望に沿った対応ができる様に引き続き、可能な範囲で“今できること”、希望に沿った対応を行うことで苑生活に潤いが生まれ、生活が豊かとなる様に支援を行い、今後も入所者懇談会を通して関係部署間での情報共有や連携を図り可能な範囲で希望に沿った対応をしていきます。

また、社会情勢や苑からのお知らせ、行事の案内を行うことで情報共有や社会の中で生活をしているという実感していただける機会にもつながっています。

ご利用者からの意見については、栄養課、介護課等と連携を図り可能な範囲で希望に沿った対応（食事やホーム喫茶のメニューに取り入れる等）を行っています。

活動実施状況

実施日	参加人数	活動内容
令和4年 4月6日(水) 14時～15時 2階、3階西側食堂	参加者 2階：17名 3階：24名 計41名	引き続き2か月に1回程度、入居者と職員との懇談会を開催していくこと ① 前回の振り返り 前回2月を予定していたが、コロナ感染者が出たこともあり中止となった事を説明 ② 新規入所者の紹介 7名 ③ 新入職員の紹介 ④ 入所者からの希望 ボーリングや、野球、卓球、ダンスなどをしてほしい等 ⑤ 苦情窓口があることのお知らせ
6月1日(水) 14時～15時 2階、3階西側食堂	2階：24名 3階：23名 計：47名	① 前回の振り返り ② 時事 外出の機会を設け少しずつ園外の活動を増やしていくこと。食中毒の時期なり食べ物の管理に注意。食事前後、トイレの後に手洗いを行って欲しいことを伝達。 ③ 新規入所者の紹介 4名 ④ 入所者からの希望 ホーム喫茶等で食べたい物、日々の生活の中で食べたい物の確

		<p>認（和菓子（もなか）、かき氷、アイス、ケーキ、チョコレート、焼き芋、ぶどう、ミカン、スイカ、苺、うなぎなど</p> <p>⑤ 苦情窓口がある事のお知らせ</p>
8月		<p>コロナウイルス感染者発症の為中止</p>
<p>10月5日（水） 14時～15時 2階、3階西側食堂</p>	<p>2階：23名 3階：28名 計：51名</p>	<p>① 前回の振り返り</p> <p>② 時事 インフルエンザの予防接種が始まること。衣替えの時期となり衣類や寝具の入れ替えを行うこと</p> <p>③ 新規入所者の紹介 8名</p> <p>④ 入所者からの希望 ホーム喫茶等で食べたい物 マック、すし、ウナギ、みそ、しょうゆラーメン、野菜の煮っころがし、焼き芋、カレー、柿、牡蠣、すき焼きなど</p> <p>⑥ 苦情窓口がある事のお知らせ</p>
12月		<p>コロナウイルス感染者発症の為中止</p>
<p>令和5年 2月1日（水） 14時～15時 2階、3階西側食堂</p>	<p>2階：14名 3階：17名 計：31名</p>	<p>① 前回の振り返り</p> <p>② 時事 昨年11月～今年1月にかけて苑内においてコロナウイルス感染者が発症した事によって生活に送る中でご不便をお掛けしたこと、現在発症者なく通常の生活に戻りつつあることを伝えている。</p> <p>③ 新規入所者の紹介 11名</p> <p>④ 入所者からの希望 食べたいもの；みかん、揚げ物、パン、あんこ、食パン、イチゴジャム、ロールパン、スパゲッティ、ミートソース、うどん（夏：冷、冬：温）、そうめん（冷）、お寿司（マグロ）、ちらし寿司、恵方巻、お刺身、とんかつ、サンドウィッチ、庶民的な食べ物、バラ寿司、酢飯など</p> <p>⑤ その他 体操する機会を設けて欲しい</p> <p>⑥ 苦情窓口がある事のお知らせ</p>

14 ボランティア・地域貢献担当

今年度も「開かれた施設づくり」というテーマをもとに活動を行ってきました。制限がかかる中でボランティアの受け入れ、近隣学校との関わり、地域自治会や第二層協議体としての活動、青梅認知症家族の会「青梅ネット」の活動の支援などを行ってきました。

障害者雇用に関しては「障害者雇用担当」を専門に置くことで生活の質向上にもかかわりのある重要な動きを取ることができました。

就労支援センターや卒業した学校である青峰学園とも関係を継続し、支援体制を整備しながら他部署との連携を取ることで施設全体の専門性を問われない業務に取り組みました。他部署の負担軽減につながるよう業務を行うことができました。

新型コロナウイルス感染症の影響で活動の制限があり、その都度社会情勢と施設としての方向性を確認しながら慎重に進めてきました。

1. 障がい者雇用の定着

障がい者雇用3年目となり、1年目、2年目に培った経験を活かしリネン交換、感染症予防のための消毒業務やご利用者の生活の質の向上を目的としてレクリエーション活動を行いました。

毎日の朝礼の実施、日誌の作成など1日の動きを見える化する。1カ月に1度振り返りを行い翌月の目標を立て社会人としての仕事だけとどまらず、社会人としての成長を体系的に支援していくことができました。

○施設内の役割について

リネン担当として1週間に1度のリネン交換を行うだけではなく布団や枕の入れえなども行いました。

○レクリエーションの実施について

ご利用者に制作レクリエーションの場を提供することで、楽しみ活動の充実を図っていき、また、リハビリ課と連携をすることで作業療法としての効果も見込めました。制作レクリエーションの課題を季節感のあるものにするにより、四季を感じられる機会にもなりました。

また、細かい作業に関しては制作ボランティア活動に参加していただくことや、青峰学園福祉コース、青梅市立吹上中学校、東京都立青梅総合高校定時制の生徒との交流活動などにも発展していくことで様々なレクリエーション活動に進展でき、作品の一つ一つに「交流」というテーマができました。

学校や保育園関係の交流活動のツールとして作品を用いることで関係性を強めることができました。

通年の取り組みとして「牛乳パックの空き箱を使用したハガキづくり」では、残暑見舞いと暑中見舞いに送りました。作成したはがきを一度青峰学園福祉コースに納めて背景画を描いていただきました。その後職員が作成し、ご家族に送るという工程を組むことで一つの作品に多くの方が関わることができました。完成された作品をご家族や保育園、学校とをつなぐツールとしても活用し連携強化にもつながりました。

○パラスポーツ「ボッチャクラブの企画・運営」について

地域の方との交流事業として始めた「ボッチャクラブ」は施設内のクラブ活動として実施することで、ご利用者の生活の中で継続的な楽しみ活動の一つとなりました。ボッチャは吹上地区では吹上小学校、吹上中学校でも学校の取り組みとして活動していることや、青梅市としても力を入れている取り組みです。今後、地域交流活動のきっかけになることも期待されます。

○えがおくらぶ・リハビリ活動の補助について

クラブ活動についての準備・片付け、会場設定・誘導補助など担当することで効率的なクラブ活動の実施やリハビリ介入人数の確保にもつながりました。リハビリ課との連携については作業療法活動に加えて園芸療法にも積極的な関わりが今後も期待できます。

○その他の取り組みについて

事務所で書類の仕分け作業など、他部署の専門性を問われない業務を担当することができました。

2. ボランティアコーディネーターとしての活動

ボランティアの受け入れは感染症対策を継続しながら実施してきました。ボランティアに関しては活動のやり方を工夫することで、感染症対策をしながら活動を行える方法を考え行ってきました。社会資源である売店は今まで行ってきた「セブンイレブン売店」から移動売店「とくし丸」に変更となりました。冷蔵機能のある移動販売はご利用者の買い物の選択の幅を広げ、毎週楽しめる活動となりました。感染症の状況に合わせて活動を継続していくことの難しさを感じました。

○売店

7月までは毎月1回の「セブンイレブン売店」を実施してきましたが8月から移動スーパー「とくし丸」を毎週金曜日に実施してきました。ご利用者はその場で商品を選んで購入するといった取り組みを通して回想法と楽しみ活動を持てる機会を得ら

れたと思います。

セブンイレブンに関しては無人売店を設置することでいつでも買い物を楽しめる環境を整えることができました。

○個人ボランティア

年間を通して様々な制限がある中での受け入れとなりました。ご利用者と直接関わる制作レクリエーションボランティア、対面ではなくオンラインで実施できるボランティアなどにも引き続き活躍していただきました。

また、昨年度から継続し 3 月には東日本大震災の被災地である福島とオンラインでつなぎ、被災地の現状を話していただく機会を作ることで防災の大切さを知ることもできました。

○リモート音楽レクリエーション

引き続き音楽レクリエーションのボランティアさんは自宅からリモートでつなぐことで感染症対策を取りながらの活動を続けることができました。

活動は月に 4 回行い、昔の歌謡曲や童謡等を歌うことはご利用者にとって楽しい活動となりました。

また活動日を介護課のフロア会議の時間に合わせることで他部署との業務を意識した活動ができました。

3. 学校・保育園関係

○青梅市立吹上中学校「ふれあい部」との交流

昨年に引き続き特別支援学級との関わりにとどまらず部活を通して生徒会役員から学校全体に発信していただくなどの取り組みを行うことができました。

文化祭では大きな作品をふれあい部の活動としてぬりえを行っていただき、それをやすらぎの家を持ち帰り作品を完成させ、3月の作品展示会に掲示する取り組みや、夏祭りの塗り絵展示、3月の折り紙づくりなどの活動を行っていただきました。

○青峰学園高等部との交流

・福祉コース

4 回のリモート交流や、認知症サポーター養成講座、笑いヨガの青峰学園に出向いての交流なども新たに行い、以前から行ってきた制作レクリエーションの内容でもある「折り紙リース」の作成も通年で依頼しました。また、塗り絵など作品を通した交流も継続して行うことで「見える交流の形」ができました。

- ・エコロジーサービスコース

引き続き青峰学園園芸スペースを作成し青峰学園で育てたお花を植えて育てる取り組みと施設の窓清掃を行う取り組みをしました。

年間5回定期的な活動によって職員だけではなかなか手の回らない施設の窓もきれいになりとても喜ばれていました。

- ・インターンシップの受け入れ

インターンシップの受け入れの希望があり実施しました。2年生の受け入れでありご利用者に接することができない中での実施で、施設周囲のタイル清掃をしていただきました。障害特性に合わせたプログラムを提供し、実施できました。

○大久野保育園「音楽あそび」リモート交流

日の出町にある大久野保育園年長組が行っている「音楽あそび」の取り組みをリモートでつなぎ、ご利用者と保育園児の交流をする機会となっています。通年の交流のきっかけを作ることで園児の成長をご利用者とともに見届けながら異世代の交流をすることができるリモートならではの取り組みです。当施設でもボランティアとして活動されていた先生が保育園でも活動していたことから始まった交流ですが、その時間にとどまらず夏祭りの塗り絵等の様々な交流に発展しました。

今後も様々な形で交流を計画的に実施することが期待できます。

4. 地域関係

吹上自治会の活動の参加をはじめ、地域活動に参加することで施設が社会資源を活用するだけでなく、施設が地域の社会資源であるといった視点をもとに行っています。介護保険における生活支援体制整備事業の取り組みとして第二層協議体の活動を行っています。大門地区は「みんなでつなぐてとてと会」の名称で行っています。地域の枠を広げ今井・藤橋地区で行われている「支え愛本舗ちょこっと霞」にも参加しました。さらに地域住民の社会資源で青梅市認知症家族の会「青梅ネット」の活動支援も行っています。

また青梅総合高校定時制の市民講師として「社会生活と福祉」という教科を年間通して担当しており、今後も様々な社会福祉法人の社会貢献活動に取り組んでいきます。

ボランティアの実施状況

月	内容	回数	備考
4月	音楽リモートボランティア	4回	フロアに分かれて行うボランティア さんの自宅から行う音楽レクリエーション
5月	音楽リモートボランティア	4回	フロアに分かれて行うボランティア さんの自宅から行う音楽レクリエーション
	個人ボランティア	12回	レクリエーション補助 洗濯物たたみ補助
6月	音楽リモートボランティア	4回	フロアに分かれて行うボランティア さんの自宅から行う音楽レクリエーション
	個人ボランティア	12回	レクリエーション補助 洗濯物たたみ補助
7月	音楽リモートボランティア	4回	フロアに分かれて行うボランティア さんの自宅から行う音楽レクリエーション
	個人ボランティア	11回	レクリエーション補助 洗濯物たたみ補助 等
8月	音楽リモートボランティア	3回	フロアに分かれて行うボランティア さんの自宅から行う音楽レクリエーション
	個人ボランティア	3回	レクリエーション補助 洗濯物たたみ補助 等
9月	音楽リモートボランティア	3回	フロアに分かれて行うボランティア さんの自宅から行う音楽レクリエーション
	個人ボランティア	5回	レクリエーション補助 洗濯物たたみ補助 等
10月	音楽リモートボランティア	3回	フロアに分かれて行うボランティア さんの自宅から行う音楽レクリエーション
	個人ボランティア	4回	レクリエーション補助 洗濯物たたみ補助 等
11月	個人ボランティア	8回	レクリエーション補助

			洗濯物たたみ補助 等
	お米の先生	1回	バケツ稲の作業ボランティア
12月	音楽リモートボランティア	1回	フロアに分かれて行うボランティア さんの自宅から行う音楽レクリエーション
	個人ボランティア	8回	レクリエーション補助 洗濯物たたみ補助 等
	おこめの先生	1回	バケツ稲の作業ボランティア
1月	音楽リモートボランティア	4回	フロアに分かれて行うボランティア さんの自宅から行う音楽レクリエーション
	個人ボランティア	4回	レクリエーション補助 洗濯物たたみ補助 等
2月	朗読リモートボランティア	1回	ボランティア団体「たんぽぽ」による リモート朗読レクリエーション
	個人ボランティア	4回	レクリエーション補助 洗濯物たたみ補助 等
3月	個人ボランティア	8回	レクリエーション補助 洗濯物たたみ補助 等
	朗読ボランティア	1回	ボランティア団体「たんぽぽ」による リモート朗読レクリエーション

ボランティア合計 延べ 113 回(個人・団体含む)

15-1

【連絡調整会議】

令和4年度連絡調整会議は毎月第4木曜日に各部署役職者が集まり、施設全体の検討課題、スケジュール等の調整を行ってきました。

連絡調整会議では事業を進める上での全部署役職者が集まり、スケジュール調整や全体に周知しなければならない課題等の調整、意思統一を図る重要な機能を果たしています。

連絡調整会議の機能として各部署から全部署への連絡事項、検討事項を伝える役割があり、施設が一つの組織として機能するための重要な役割を果たします

令和4年度の検討事項は以下のようになっています。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和4年4月28日 15時30分 ～16時30分	13名	・人事異動 ・コロナウイルス感染症対策 ・令和3年度事業報告書の作成について ・各部署からの報告
5月27日(木) 15時30分 ～16時30分	13名	・人事異動 ・コロナウイルス感染症対策 ・事業報告書の完成周知 ・各部署からの報告
6月24日(木) 15時30分 ～16時30分	14名	・コロナウイルス感染症対策 ・施設調査書の提出 ・賞与の支給について ・各部署からの報告
7月23日(木) 15時30分 ～16時30分	13名	・人事異動 ・コロナウイルス感染症対策 ・各部署からの報告
8月26日(木) 15時30分 ～16時30分	14名	・人事異動 ・コロナウイルス感染症対策 ・土砂災害警戒区域について ・各部署からの報告

9月23日(木) 15時30分 ～16時30分	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症対策 ・第3者評価ヒアリングについて ・各部署からの報告
10月28日(木) 15時30分 ～16時30分	14人	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症対策 ・施設情報の漏洩について ・各部署からの報告
11月25日(木) 15時30分 ～16時30分	書面にて 発信	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症対応経過報告 ・残業と三六協定について ・各部署からの報告
12月23日(木) 15時30分 ～16時30分	書面にて 発信	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症対応経過報告 ・令和5年度事業計画書の作成について ・各部署からの報告
令和5年1月27日 (木) 15時30分 ～16時30分	14名	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動 ・コロナウイルス感染症対応経過報告 ・令和5年度事業計画について ・各部署からの報告
2月23日(木) 15時30分 ～16時30分	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動 ・コロナウイルス感染症対策 ・令和5年度事業計画について ・理事会の開催 ・介護職員処遇改善支援補助金について ・各部署からの報告
3月24日(木) 15時30分 ～16時30分	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動 ・令和5年度事業計画書 ・令和4年度事業報告書の作成 ・理事会開催について ・各部署からの報告

15-2

【衛生委員会】

令和4年度衛生委員会は毎月第3金曜日に開催し、全12回開催しました。開催した衛生委員会には、全て産業医の中村麻予医師が参加し、指導・助言を頂きました。毎月の産業医による職場巡視の結果報告を行い、職場環境改善や労災防止等の対策を行いました。

また、全職員定期健康診断を9月に実施し、夜勤を行う職員は法令に基づき年2回行う必要があるため、3月に2回目を実施しました。各診断結果により産業医から個別の面接指導を行っていただきました。

労災については2件発生しました。2件とも厨房内で作業中のものであり、いずれも労災申請および労働基準監督署へ報告し、衛生委員会にて分析、予防対策を行いました。

令和4年度は新型コロナウイルスの感染が7月より第7波、11月に第8波と2回感染拡大の波があり、7月の第7波では職員および家族が複数名陽性となりましたが、施設内での感染は予防できました。しかし、11月の第8波では職員1名の感染から始まり、ご利用者に感染が拡大しクラスターとなり、11月中は3階ご利用者、12月は2階ご利用者と順次感染が拡大し、ご利用者61名、職員22名が感染しました。

11月21日には西多摩保健所より感染予防対策の指導を受け、感染予防対策の見直しを行いました。

約2カ月の居室での隔離期間があり、その弊害として既感染者は体力低下により、既往症の再発および食思低下による入院、死亡に至るケースがあり、非感染利用者においても心身機能の低下により、感染以前の生活に戻るために多くの時間を必要とすることがわかりました。苑内に感染症を持ち込まない対策としてご利用者が陽性となった場合、即時のスタンダートプリコーションとゾーニングの開始が重要ですが、新型コロナウイルスはエアロゾル感染のため、多床室では同室者の感染を予防することが難しいことや館内のエアの流れもフロアにより異なり、感染を拡大させないための対策の難しさが課題として残されました。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和4年 4月15日	産業医他 11名	<ul style="list-style-type: none">・ 厨房調理室内の職場巡視結果・ 令和4年度定期健康診断実施計画について・ 新型コロナウイルスへの対応 (感染予防のため飲食を伴う行事は実施しない) (感染が微増しているため、館内消毒、換気を継続する) (屋外からの面会の継続) (中村医師より施設内に持ち込まないためにも体調の変

		化時の報告を必ず実施すること)
5月20日	産業医他 12名	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯場の職場巡視結果 ・労災報告（厨房内、業務中労災の件） ・新型コロナウイルスへの対応 (ケアカンファレンスの再開の件 (梅雨時期の面会方法について⇒相談室横でのスクリーン越しの面会の実施について) (新規入所、ショートステイの個室隔離期間について) (リハビリの実施方法について) (料理クラブの実施方法について) (夏祭りでの入間太鼓の実施方法について)
6月17日	産業医他 10名	<ul style="list-style-type: none"> ・1階倉庫の職場巡視結果 ・施設周辺にアライグマが生息している件について ・新型コロナウイルスへの対応 (5月21日よりケアカンファレンス実施している件) (6月20日より相談室横で面会再開通知を発送予定) (ボランティア活動時チェックリストについて) (外出支援再開の件) (フロアを分けて実施している入浴の実施方法の件) (フロア間の介護職員のサポートの実施の件) (リハビリ課の利用者への介入方法について) (6月以降のPCR検査実施の件)
7月15日	産業医他 12名	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯室、宿直室の職場巡視の結果 ・定期健康診断実施の件 ・新型コロナウイルス対策関連 (7月第2週より感染が拡大しているため面会方法を外からの窓越しのみに変更する件) (職員家族等が複数名陽性となっている件) (7月11日より毎週のPCR検査再開する件) (青梅市ワクチン巡回接種実施の件) (感染拡大していることによる、ケアカンファレンス、行事等の実施方法見直しの件)
8月19日	産業医他 11名	<ul style="list-style-type: none"> ・1階女子更衣室の職場巡視の結果 ・利用者・職員定期健康診断の実施の件 ・新型コロナウイルス対策関連 (職員の4回目のワクチン接種の件)

8月19日	産業医他 11名	(職員家族等が陽性による自宅待機の状況について) (本人、家族が陽性となった場合のHER-SYSへの登録と自宅療養サポートの利用について) (発熱・鼻水・咳等の症状有りだが、抗原検査陰性の場合の対応について) (イソジンうがい薬の使用の件について) (料理クラブ実施の件)
9月16日	産業医他 9名	・1階男子更衣室職場巡視実施の件 ・定期健康診断実施後の個別指導について ・9月10日発生した厨房内労災発生の報告と対応について ・新型コロナウイルス対策関連対策 (8月より9月まで職員等8名陽性となっている件) (陽性となり自宅待機後の出勤時の抗原検査とN95マスク使用等の件) (個別リハビリの実施方法の件) (1階窓越し面会の再開の件)
10月21日	産業医他 11名	・1階和室職場巡視の結果 ・利用者・職員定期健康診断の結果に基づく産業医の個人面談の実施について ・9月10日に発生した労災発生後の経過について ・インフルエンザ予防接種の実施の件 ・中災防による腰痛予防アンケート報告の件 ・新型コロナウイルス対策関連対策 (9月衛生委員会開催後の職員等陽性者の経過の件) (ケアカンファレンス再開の件) (感染者が1.35倍と感染が拡大し、インフルエンザと同時流行リスクの件) (毎週のPCR検査継続の件)
11月18日	産業医他 11名	・理美容室、歯科室の職場巡視結果 ・青梅労働基準監督署立ち入り調査実施報告 ・新型コロナウイルスへの対応 (11月9日以後職員、利用者陽性者が出てクラスターとなる可能性があるため感染拡大予防対策実施の件) (面会制限開始の件)

11月18日	産業医他 11名	(ショートステイ受け入れ停止の件) (11月ホーム喫茶中止の件)
12月9日	産業医他 11名 (サイボウズ による書面決議)	・医務室、静養室職場巡視報告 ・リスクアセスメント実施の件 ・年間安全衛生計画作成の件 ・新型コロナウイルス対策関連 (11月委員会開催以後利用者50名、職員16名陽性 となり、クラスターが続いている件) (理美容、歯科診察は引き続き中止とする件) (エアロゾル感染の予防について)
令和5年 1月20日	産業医 11名	・2階ワーカー室の職場巡視報告 ・リスクアセスメント実施の件 ・年間安全衛生計画作成の件 ・夜勤を行う職員の健康診断実施の件 ・新型コロナウイルスへの対応について (12月末までにクラスター終息した件) (コロナ対応アンケート実施の件) (利用者5回目ワクチン接種実施の件) (窓越し面会再開の件) (クラスター終息後の入浴、リハビリの実施方法の件)
2月17日	産業医他 11名	・2階汚物処理室、倉庫の職場巡視結果 ・年間安全衛生計画作成の件 ・安全衛生方針の表明の件 ・厚生労働省「面会再開推進通知とリーフレット」の件 ・新型コロナウイルスへの対応について (青梅市ワクチン巡回接種実施の件)
3月17日	産業医他 11名	・2階機械浴室の職場巡視結果 ・夜勤業務職員の健康診断の実施結果による個別指導の件 ・出勤時抗原検査の実施方法の変更について ・厚生労働省「面会再開推進通知とリーフレット」の件 ・新型コロナウイルスへの対応及びインフルエンザの件 (食事介助時のフェイスシールド使用解除の件) (集団・個別リハビリ、外出行事の実施方法の件) (5月より第5類に移行することによる抗ウイルス薬の保険適用による自己負担となる件)

15-3

【安全衛生委員会】

毎月第4木曜日午後に開催しました。

主にご利用者の事故や病気の予防策について話し合いを行いました。高齢者は感染症にかかりやすいので、衛生面での改善策に重点を置き、日常生活支援改善を検討しました。

2019年末頃より新型コロナウイルス肺炎(COVID-19)の流行に伴い、感染症予防対策と同時に衛生物品の充実と施設内設備を整えました。また、1年を通して新型コロナウイルス感染への対応、対策を話し合いご利用者が安心、安全に生活できるように衛生面に配慮し感染予防策に取り組んできました。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和4年 4月28日	11名	<ul style="list-style-type: none"> *害虫予防対策について *新型コロナ感染症自宅待機者について *昼夜、日々の寒暖差あり衣類、掛物調整
5月26日	11名	<ul style="list-style-type: none"> *害虫予防対策継続 *3F一般浴室のカビ対策について *ご利用者体調管理について
6月23日	12名	<ul style="list-style-type: none"> *電力需給ひっ迫について(室温調整) *天候不安定による体調不良者の対応について
7月28日	11名	<ul style="list-style-type: none"> *新型コロナ感染拡大について (濃厚接触者報告あり) *利用者の体調管理について(脱水予防)
8月25日	12名	<ul style="list-style-type: none"> *昼夜寒暖差あり、室温調整 *施設北側斜面、土砂災害警戒区域に指定
9月22日	11名	<ul style="list-style-type: none"> *寒暖差による体調不良者の対応について *口腔維持について
10月27日	12名	<ul style="list-style-type: none"> *昼夜の寒暖差に注意。掛物調整
11月	—	<ul style="list-style-type: none"> *新型コロナ感染クラスター発生のため書面での会議 *3F新型コロナ感染罹患患者あり、自室隔離対応の為事故予防に努める
12月	—	<ul style="list-style-type: none"> *新型コロナ感染クラスター発生のため書面での会議 *2F新型コロナ感染罹患患者あり、自室隔離対応の為事故予防に努める *各部署でできる範囲で掃除

令和5年 1月26日	12名	<ul style="list-style-type: none"> * 新型コロナ感染罹患後の体調不良者の対応について * 入浴の対応について、離床時間の見直し * 1F 多目的ホールに降りるときの対応について
2月23日	11名	<ul style="list-style-type: none"> * 面会場所の改修検討について * 入浴時の離床時間の見直しについて * 館内で寒暖差あり防寒対策について
3月23日	11名	<ul style="list-style-type: none"> * 昼夜、日々の寒暖差あり服装、防寒対策について * アクリル板設置、事故予防、注意していく

15-4

【褥瘡予防委員会】

「褥瘡を作らない」という大きな目標とその中で陰部、臀部洗浄を強化し創部の清潔保持、オムツ内の環境を整え褥瘡の発生、悪化の予防に努めています。

新型コロナウイルス感染症のクラスターにより環境の悪化と体調不良により 4 名の方が褥瘡になってしまい、そのため早急に対応し褥瘡計画立て産業医の指示を仰ぎながら対応をしていきました。結果全身状態も安定し現在は 2 名の方は治癒し残り 2 名の方も治癒目前です。

安楽な体位変換、体圧分散、除圧の検討をし、褥瘡ケア用クッションを増やし、利用者のニーズに合わせて検討し、栄養不良により褥瘡リスクの高い利用者に対し栄養補助食品等検討をしてきました。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和 4 年 4 月 15 日	12 名	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡治癒後で再燃注意者（1 名）に対し予防周知 ・気候の変化によりオムツ環境、皮膚トラブルの観察依頼 ・ポジショニング（1 名）評価対応
令和 4 年 5 月 20 日	13 名	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡危険因子ある方（2 名）の予防対策 ・新入所 1 名の褥瘡既歴あり頸椎損傷四肢麻痺 再燃注意し、ポジショニング・シーティング評価対応
令和 4 年 6 月 17 日	11 名	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡リスク高い方（3 名）に対しての予防対策 ・全身状態低下（1 名）危険因子排除 食事栄養の見直し予防対策
令和 4 年 7 月 15 日	13 名	<ul style="list-style-type: none"> ・新入所経管栄養にてベッド上全介助、褥瘡予防エアーマット設置、ポジショニング、シーティング評価対応 ・褥瘡加算の評価、見直し ・リハビリより福祉用具使用状況表を確認、見直し
令和 4 年 8 月 19 日	12 名	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚トラブル（1 名）、予防対策 ・その他要注意の方大きな問題なく経過され引き続き予防に努め異常の早期発見、対応に努めるよう依頼
令和 4 年 9 月 16 日	10 名	<ul style="list-style-type: none"> ・危険因子重複者（2 名）に対する予防対策

		<ul style="list-style-type: none"> ・9月健康診断 結果出次第、嘱託医・栄養士評価 ・Alb 低値（1名）、食事見直し変更 対応
令和4年10月21日	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡因子の高い方（3名）に対し対策予防 報告 ・9月の健診結果、嘱託医の指示 栄養の改善指示
令和4年11月19日		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症クラスターにより書面決議 ・仙骨部、右踵部、びらん所見（2名）に対する予防対策 ・高リスク者（2名） 褥瘡のリスク予防対策危険因子の配慮
令和4年12月17日		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症クラスターにより書面議決 褥瘡（4名）、褥瘡計画を立て対策対応
令和4年1月21日		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者対応により書面議決 ・褥瘡者（4名）体調不良、全身状態悪化、再度危険因子見直しと増悪の予防対策 ・低 Alb 値（2名）高エネルギー食とし定時採血にて評価対応
令和4年2月18日	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・（1名）褥瘡治癒、再燃注意し引き続き 危険因子の排除に注意喚起 ・（2名）の褥瘡所見 対応対策の見直しと処置内容見直し対応 ・新入所1名 仙骨部褥瘡手術後、治療中 処置内容見直しと増悪予防対策（褥瘡個別計画書）
令和4年3月18日	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・1名褥瘡治癒再燃予防対策 ・2名の褥瘡所見 対応対策見直し ・低 Alb 値（1名）高エネルギー食都市定時採血にて評価対応

15-5

【入所検討委員会】

入所検討委員会では申込者に対し入所検討を実施し、待機者として待機していただくかたちを取っております。事前面接については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からリモートで実施、あるいは書面にて確認し入所に繋げるよう努めました。

待機者の傾向としてさらに医療を必要としている方が増えております。そのため施設としての受け入れのための環境整備と、職員の医療の知識の向上が求められています。

新型コロナウイルス対策については、外部関係機関の協力を得ながら、入所前のPCR検査と入所時の抗原検査の実施により感染予防に努めました。

今年度は在宅からの入所を再開し、入所者内訳、在宅から8名、病院から13名、老健から5名、他施設から4名、計30名の方が入所されております。

来年度も感染症防止に努めながら、慎重かつ迅速に入所に繋げて行く必要があり、外部関係機関との連携を密に図っていきます。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
4年4月22日 15:00～15:15	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・入所申込者4名入所検討会を行い待機とする ・待機者人数の確認と待機者の傾向について ・今後の入所予定について
5月26日 15:15～15:30	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・入所申込者12名、入所検討会を行い待機とする ・待機者人数の確認と新規入所受け入れ時の情報収集について
6月23日 15:15～15:30	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・入所申込者14名、入所検討会を行い1名保留、1名状態確認、12名待機とする ・待機者人数の確認と待期期間の傾向について
7月		<ul style="list-style-type: none"> ※新型コロナウイルス感染拡大防止の為書面にて実施 ・入所申込者8名、各自書面にて確認し2名保留、6名待機とする ・待機者人数の確認と今後の入所予定者について
8月25日 15:15～15:30	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・入所申込者11名、入所検討会を行い11名待機とする ・待機者人数の確認 ・今後の入所予定について ・入院者の状況について
9月22日 15:15～15:45	16名	<ul style="list-style-type: none"> ・入所申込者16名、入所検討会を行い12名待機、4名保留とし、そのうち2名詳細を収集後再検討とした

		<ul style="list-style-type: none"> ・待機者人数の確認と今後の入所予定について ・稼働率について ・10月からのベッド数について
10月27日 15:00～15:20	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・入所申込者7名、入所検討会を行い7名待機とする ・待機者人数の確認と今後の入所予定について ・長期入院による退所予定について
11月		<ul style="list-style-type: none"> ※コロナウイルス感染対策中の為書面にて実施 ・入所申込者9名、各自書面にて確認、9名待機とする ・待機者人数の確認
12月		<ul style="list-style-type: none"> ※コロナウイルス感染対策中の為書面にて実施 ・入所申込者3名、各自書面にて確認、3名待機とする ・待機者人数の確認
5年1月26日 15:15～15:30	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・入所申込者7名入所検討会を行い、7名待機とする ・待機者人数の確認と今後の入所について ・入院者の状況について
2月21日 15:00～15:20	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・入所申込者6名、書面にて確認を行い待機とする。 そのうち1名については状態の確認を行っていく ・待機者人数の確認と今後の入所予定について
3月23日 15:30～15:40	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・入所申込者7名、入所検討会を行い待機とする。 そのうち2名については状態の確認を行っていく ・待機者人数の確認と、入院者の状況、今後の入所予定について

15-6

【事故苦情対策委員会】

令和4年度は11月～1月にかけてコロナウイルスクラスター発生が発生したことで、ヒヤリハット・事故件数が減少しています。(感染予防のため居室内生活を2か月余り過ごしていただいていた)

令和3年度に事故分析等の見直しを行った結果、今年度は事故原因の不明となる事象が減少し原因が特定しやすく、記録を取りやすくなったため皮膚トラブルが増加しています。

また、引き続きご利用者の心身のレベル低下や能力の誤認、原因不明の皮膚トラブル、慣れによる事故やヒヤリハットが見られ傾向と対策を立てましたが減少までに至らず、繰り返しの事故やヒヤリハット等の報告書などが上がっています。さらにコロナウイルスのクラスター発生によりご利用者の心身の機能低下が見られたこと、予期しない事故もみられました。さらに入退所がコロナウイルス感染後に一時的に集中したことにより、新規入所者によるヒヤリハットや事故件数が増え骨折による入院となるケースもみられています。そうした中で、リハビリ職員、看護職員、介護職員等と他部署との連携を図ると共に家族から情報を共有し個々の特性や特徴を捉えられる様連携を図りました。適宜心身機能評価の実施や車いすやベッド環境の見直し、また介護職員の業務見直しを行う事で明け方の事故を未然に防げる様工夫を行いました。

昨年と同様に定期的にセンサー類の不具合や使用方法についてのヒヤリハット、事故報告からなぜ対象となるご利用者がセンサー類のマットを使用しているのかを改めて確認し、職員間での理解を深め、再発防止のための検討し、個々のご利用者の状況把握と情報共有に努めると共に、原因の追求、再発防止に努めました。

コロナ禍において家族との連携が希薄になっておりカンファレンス時、面会時や請求書内でのお知らせ、個別に手紙を入れることなどを行い苑で行っていること、ご利用者の様子をお知らせしました。入居者懇談会を偶数月に実施し、挙げられた希望を職員間で情報共有を図り改善、実施し、再度入居者懇談会にてご利用者に報告をしてきました。

本年度はサービスマナーも含めたリスクマネジメント、虐待、身体拘束等の研修を行い、マナーを通して様々な”気づき”が生まれる様工夫を行いました。

次年度についても、個々のご利用者の状況把握、情報共有や伝達方法の検討なども含めながら、原因の追求、再発防止に努めていきます。さらに事故発生後速やかに関係部署においてOJTを行い、事故報告書の発生の原因と再発予防対策と発生原因の分析を行うことで、リスクマネジメント意識を高めるものとします。定期的なサービスマナー、身体拘束やリスクマネジメント、虐待防止法等の研修を実施しより良いケアにつなげられる様に次年度も職員個々のスキルアップを目指しケアを行っていきます。

本年度内で受診などに至った事故については保険者に報告しました。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和4月22日 16:45~17:10	14名	① 3, 4月のヒヤリハット、事故報告の件数と傾向 ○皮膚トラブルが多い件 ○センサーオフになっている件 ② 苦情・要望 2件： 入所者より ○外注食の聞き取りを聞いてもらえなかった ○介助中の職員の言葉がきつかった ③ 身体拘束廃止の指針の見直し ④ ヒヤリハット：39件、 事故件数：18件
5月22日 17:10~17:25	13名	① 4, 5月のヒヤリハット、事故報告と対策について ○原因不明の皮膚トラブルが多い件 ② 苦情・要望：無 ③ ヒヤリハット：37件 事故：17件
6月23日 16:15~16:35	14名	① 5, 6月のヒヤリハット、事故報告と対策について ○特定入所者によるヒヤリハット・事故発生について ② 苦情・要望 無 ③ ヒヤリハット：47件 事故：25件
7月22日 16:30~16:35	11名	① 6, 7月のヒヤリハット、事故報告と対策について ○介助中の皮膚トラブルについて（内出血、剥離） ② 苦情・要望：無 ③ ヒヤリハット：38件 事故：21件 ※コロナウイルス感染者が出た為リモートにて実施
8月25日 15:30~15:45	11名	① 7, 8月中のヒヤリハット・事故報告について ○特定入所者によるヒヤリハット・事故発生について ② 苦情・要望：無 ③ ヒヤリハット：28件 事故：15件 ※コロナウイルス感染者が出た為リモートにて実施
9月25日 16:10~16:45	12名	① 8, 9月中のヒヤリハット・事故報告について ○SS 利用者家族より退所当日自宅に帰った際に皮膚トラブルがあったと報告を受けた件 ○自動ブレーキの車いす対象者が増えている件 ○2階居室プライベート空間内に苑の荷物を置いていた事による事故について ② 苦情・要望：無 ③ ・ヒヤリハット：57件 事故：12件

		④ 9月に発生した身体拘束の件 ※緊急にて委員会を開催し対応の検討 ※研修をサービスマナーも含め実施した
10月27日 15:25~16:35	13名	① 9、10月中のヒヤリハット・事故報告について ○異食、皮膚トラブルについて ② 苦情・要望：無 ③ ヒヤリハット：27件 事故：23件
11月24日	〆名	※ コロナウイルスクラスター発生にて中止 ① 苦情・要望：無 ② ヒヤリハット：21件 事故：21件 ③ 体調不良からくるヒヤリハット・事故が発生
12月22日	〆名	※ コロナウイルスクラスター発生にて中止 ① 苦情・要望：無 ② ヒヤリハット：13件 事故：15件 ③ 換気のため窓を開けたところ、ベランダに出てしまう
R5年1月26日 15:45~16:25	13名	① 12、1月中のヒヤリハット・事故報告について ○車いすの座面が滑り事故になった件 ② 苦情・要望：無 ③ ヒヤリハット：17件 事故：10件
2月23日 16:00~16:30	12名	① 1、2月中のヒヤリハット・事故報告について ○ヒヤリハットの傾向について ○転倒による事故→骨折の為入院 ○同一利用者による事故やヒヤリハットの件について ② 苦情・要望：1件 家族より相談員の言葉の配慮が足りなかった件 ③ ヒヤリハット：26件 事故：12件
3月23日 15:50~16:10	10名	① 2、3月中のヒヤリハット・事故報告について ○同利用者によるヒヤリハット・事故について ○新規入所者によるヒヤリハット・事故について ○転倒事故 骨折し入院 ○事故原因の特定が難しい骨折事故の件 ② 苦情・要望：無 ③ ヒヤリハット：28件 事故：14件

令和4年度 ヒヤリハット総数：356件 事故発生件数：209件 合計：565件
苦情・相談 3件（入所者 2件、家族1件）

(1) 令和4年度 月別事故分析

発生月	発生内容															計
	転倒	転落・ずり落ち	誤嚥	服薬ミス	皮膚トラブル	やけど	自傷行為	打ち付け・挟み込み	異食行為	原因不明	利用者間のトラブル	離設	職員の介助中	紛失・破損	その他	
4月	5	2	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	18
5月	4	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	19
6月	0	4	0	1	7	0	0	2	1	2	0	0	1	0	2	20
7月	2	4	0	0	7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	18
8月	2	3	0	1	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5	18
9月	7	0	1	0	3	0	0	0	1	1	0	0	2	0	2	17
10月	4	9	0	0	3	0	0	0	2	0	2	0	0	1	2	23
11月	5	10	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	22
12月	2	9	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	17
1月	1	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	9
2月	2	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	9
3月	3	5	0	1	5	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	19
計	37	58	2	4	51	0	0	4	7	6	2	0	10	5	23	209

事故発生状況

(2) 事故（ヒヤリハット含む）種別年度比較

単位：件

内容 年度	転倒・転落			ずり落ち			その他		計	備考
	ベッド	歩行中	臥床	移動	排泄	臥床	皮膚トラブル	その他		
3年度	6	6	4	9	5	21	25	736	812	入院 1 件 死亡 1 件
4年度	8	13	3	5	4	36	98	398	565	通院 15 件 入院 2 件

令和4年度市区町村に届け出た件数は6件。内訳入院2件（転倒による骨折のため）

(3) 事故発生分析と予防対策

令和4年度は、11月～1月にかけてコロナウイルスのクラスターが発生し、臥床対応（居室内での生活）を余儀なくされたことで事故・ヒヤリハット件数が減少しています。

令和4年度は歩行中の転倒事故が多くみられ、ずり落ちについては臥床中に多くみられています。また、令和3年度に事故内容や分類の見直しを行った結果、その他の内容が見直され減少しています。皮膚トラブル（剥離、内出血、特定できないもの、介護事故等）は引き続き多くみられています。

また、昨年と違う点として、移乗の際による事故が令和3年度は4件だったものが令和4年度は9件と倍になっております。これは、ご利用者の心身の機能低下によるものや、介助者側のケアレスミが原因として挙げられます。

事故発生件数増加の要因として、認知症状の重度化やご利用者の身体機能低下、また同じご利用者による事故が繰り返し起こる（椅子からの立ち上がり、歩行による転倒や車椅子からの滑落、トイレでの移乗動作時に滑落等）ケースが多発している点が挙げられています。また、マットセンサー等の不具合・誤作動やON・OFFの確認漏れ等による事故もみられています。1つの事故が複数の要因（認知症による能力の誤認から行動し、転倒した際に皮膚剥離等につながっていたり、介助中の注意事項周知がきちんとされていない事での転倒事故、不眠による事故等）から成り、さらに初歩的なミスにより発生した事故やヒヤリハットも発生しております。

コロナウイルスのクラスターが発生したことで入退所が多くなり、新規入所者による事故も増えております。個々の状態から発生原因を特定し、予防や対策に努めると共に、関係部署間での情報共有を行い、以前起きた事故の振り返りを行うことで再発防止を見直すきっかけとしました。リハビリ課と連携を図り、身体機能やその他個々に応じたベッド環境や車椅子・ベッドの検討や見直しを行うことで、未然に防げる事故もありました。また、ケアプランにも反映できる様になりました。

今後の課題として、引き続きの検討と対応強化、持続性を維持する必要があります。職員研修で感じたこと、学んだことを実践できるような仕組み作りも今後の課題となっています。また、ご利用者個々の特性を把握し、未然に防ぐ対応を共有できること、“気づき”をいち早くキャッチできるのかという点についてが今後の課題です。繰り返し学ぶことで自然と身につけられる様研修を行います。まず、“入所者の個々の特性を知ること”から始め、そこからどのようなケアが必要なのか、未然に防げるケアをヒヤリハットから学び、多くの気づきが生まれる様にしていきます。また、事故後は早急なフィードバックを行い、事故予防に繋げていきます。本年度の反省と課題を生かし、引き続き事故防止等に努めていきます。

(4) 時間別事故パターン分析

発生時間	発生内容														計	
	転倒	転落・ずり落ち	誤嚥	服薬ミス	火傷	自傷行為	打ち付け・挟み込み	異食行為	原因不明	利用者間のトラブル	離設	皮膚トラブル	職員の不注意	異物混入		その他
0時	1	0										1			2	4
1時	0	1									1				1	3
2時	1	2													3	6
3時	2	3													3	8
4時	2	0										4			4	10
5時	3	4						1				1			3	12
6時	1	4					2		2			5			2	16
7時	0	0						1				1	4	1	20	27
8時	2	1		1			1	1	1			8	1		9	25
9時	2	3					1	1				10	4		15	36
10時	1	1						1	3			17	1		25	49
11時	0	2							1	1		2	3	4	25	38
12時	2	3	1									8	4		17	35
13時	1	3		1								3	4		7	19
14時	5	3				1	1	1	3			19	8		14	55
15時	3	9					1					9	6		18	46
16時	2	2		1				1	2			4	4		19	35
17時	0	2	1	3						1		6	3		20	36
18時	3	2										3	3		20	31
19時	2	4		1			1					1	1		10	20
20時	0	1										1	1		4	7
21時	1	5							1			10	7		11	35
22時	1	3							1						1	6
23時	2	2										1			1	6
計	37	60	2	7	0	1	7	7	14	2	1	114	54	5	254	565

15-7

【身体拘束適正化委員会】

身体拘束適正化委員会で高齢者虐待、リスクマネジメント、サービスマナー等について確認を行ってきました。コロナ禍において集団での研修が困難となり、書面やパソコン内での確認、リモート・少人数等で複数回研修を実施し自身での振り返りの場となりました。定期的にセンサーマット等のセンサー類が適切に使用できているのか、ベッド環境が個々にあったものなのかを各フロアで確認し検討しました。

次年度の課題として、転落事故防止のためセンサーを使用していますが、これらの使用状況をモニタリングし継続使用が必要かどうかを随時検討し、できるだけ使用は最小限にすることの検討を進めていきます。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
4月22日 16:30~16:45	14名	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束適正化指針の見直しについて ・身体拘束適正委員会は3か月に1度開催する ・見守り機器等活用委員会も同時に開催 この中でセンサー等の使用状況の確認等を行った。
6月14日 ~6月30日	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・事故苦情、サービスマナー虐待、身体拘束研修 コロナウイルス感染拡大防止のため各自動画「不適切ケア」を視聴し、感じた事、今後どのように活かすかをリアクションペーパーに記入し提出。
7月28日 16:30~16:40	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドセンサー、マットセンサーの使用状況の把握と検討について ・見守り機器等活用委員会も同時に開催
10月27日 15:25~16:35	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・センサーマット等の電源のオン・オフについて ・センサーマットの誤作動について ・見守り機器等活用委員会も同時に開催
11月16日 14:35~14:55	5名	緊急身体拘束廃止会議 3階フロアのクラスター発生に伴う身体拘束について
R5年1月26日 16:25~16:30	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・各階、センサーマット等の使用状況の見直し ・見守り機器等活用委員会も同時に開催
3月15日 ~3月31日	全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメント・身体拘束・虐待・サービスマナー研修

15—8

【サービスマナー委員会】

介護施設の仕事は対人関係が基本であり、「お客様」の心理を理解したうえで、ご利用者やご家族に喜ばれる、優しさと思いやりのある接遇ができなければなりません。そのため、今年度は、日々の業務の中でマナーについての振り返りの機会を持てるように、研修を行いました。

ご利用者、ご家族にとって居心地の良い生活空間が提供できるよう取り組み、基本的なマナーについて日々振り返りができるよう、職員一人ひとりが「敬う気持ち」や「おもてなしの心」を持ち、サービスが提供できるよう取り組みを行いました。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和4年 4月22日	13名	① 今年度の活動について ② マナー5原則について
6月23日 15:00～15:15	12名	① 研修「不適切ケア」の実施について ※研修については全職員対象 期間 6/14～6/30 動画を観て、感じた事、今後の仕事はの活かし方、感想等をリアクションペーパーにまとめ提出
8月25日 15:00～15:15	10名	① 研修「介護職員の接遇とは」 ※研修については全職員対象 期間 9/1～9/20 動画を観て、振り返りや気付き、今後の仕事に繋げるための取り組み等をリアクションペーパーにまとめ提出
11月2日 15:00～16:00	13名	① 研修「認知症でBPSDのある方を受け入れるには」 3グループに分かれディスカッションを行い、他者の視点や考えを知り、複数のBPSDを抱える方の受け入れを前向きに考えるきっかけとなるよう実施
11月9日 15:00～16:00	9名	① 研修「認知症でBPSDのある方を受け入れるには」 3グループに分かれディスカッションを行い、他者の視点や考えを知り、複数のBPSDを抱える方の受け入れを前向きに考えるきっかけとなるよう実施
令和5年3月	全職員	① 研修「サービスマナー、事故・苦情、身体拘束総合研修」 もし自分が(家族が)介護施設に入所していたと仮定し、職員の言葉や態度(施設の日常にあるような光景)をどう感じるかを自由記述にて提出、自分の仕事を振り返る

15-9

【研修委員会】

研修は運営基準上実施が義務付けられている研修、スキル維持・向上を図る研修に分けて実施しました。今年度も引き続きコロナウイルス感染予防のため、基本的に集合での研修は行わずオンラインでの研修が主となりました。昨年度から引き続き映像視聴などによる机上研修の形式を採用するものもありました。

施設内研修

研修テーマ	参加職種・参加人数 実施日	研修講師 主な内容
・新入職員研修	令和4年4月1日 参加者：1名	事業計画、就業規則等 感染症、身体拘束・事故防止、防災 その他介護技術等
・事故防止・身体拘束・ サービスマナー研修	6月14日～6月30日	講師：生活相談室 不適切ケアに関する映像視聴 リアクションペーパーの提出
・サービスマナー研修	9月1日～20日 全職員対象 映像視聴	講師：生活相談室 介護職員の接遇について 映像視聴後、リアクションペーパー提出
・排泄研修	10月中 動画視聴	白十字社のおむつの当て方動画を各自視聴する形式
・移乗研修①	10月中	講師：リハビリ課 福祉機器の使用方法について資料配布を行った。
・認知症の方の受け入れについて①	11月2日 13名	講師：生活相談室 BPSDのある方を受け入れるには グループに分かれディスカッションを行った。
・認知症の方の受け入れについて①	11月9日 9名	講師：生活相談室 BPSDのある方を受け入れるには グループに分かれディスカッションを行った。
・移乗研修②	12月中	講師：リハビリ課 中央労働災害防止協会協力のもと、職員の

		腰痛予防を目的とした福祉機器の使用に関する実地研修を行った。
・見守り機器活用に関する検討	令和5年1月26日	眠りスキヤンの使用方法 配線の取り回し等に関する検討を行った。
・ハラスメント研修	令和5年2月20日 配信視聴	主催：東京都高齢者施設協議会 ハラスメントの基礎知識 事例検討、再発防止策
事故防止・苦情・身体拘束・マナー総合研修	3月 全職員対象	講師：生活相談室 日常において事故や虐待は起こり得るものであり、サービスマナーが関わっていることを考え、場面設定から自らの仕事の振り返りを行った。 様式に記入し、提出している。
感染症予防研修	3月12日 参加者：21名 映像視聴	スタンダードプリコーションの着脱について映像にて確認
褥瘡予防研修	3月25日 参加者：32名 映像視聴	講師：渋谷郁美 褥瘡に関する基礎知識 福祉用具の使用 スキンケアについて

施設外研修

研修テーマ	参加職種 実施日・参加人数	主催者 主な内容
高口光子の元気が出る介護塾	地域・ボランティア担当 1名 4月～10月にかけて 計8回	主催：七七舎 ・介護現場のコミュニケーション ・認知症ケア ・身体拘束、虐待 ・ターミナル ・人材育成、新人教育 ※認知症ケア専門士単位取得あり
東京都介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修	介護課4名参加、3名 修了	主催：東京都福祉保健財団 7月：学科研修10日間 10月～3月：苑内での実地研修

指導看護師研修会	看護課 1 名 9 月 21 日、22 日	主催：東京都福祉保健財団 東京都介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修の指導のため。
栄養ケア、マネジメント研修会	動画視聴 9 月 12 日～10 月 7 日	主催：東京都高齢者福祉施設協議会 経口維持換算に関する取り組み事例など
姿勢/動作の誘導と介助	リハビリ課 1 名 10 月 2 日、23 日	主催：bridge 頭部・体感機能の活用 体幹・下肢機能の活用
福祉用具サービス業務従事者講習会	リハビリ課 1 名 10 月 4 日	主催：東京都福祉保健財団 トランスファーボードとスライディングシートの活用方法
国際福祉機器展見学	リハビリ課 2 名	主催：全国社会福祉協議会
福祉用具専門相談員指定講習会	リハビリ課 1 名 2 月 7 日～4 月 4 日 計 8 日間	主催：未来ケアカレッジ 福祉用具専門相談員の資格取得のための講習
介護職員初任者研修	介助員 1 名 1 月 31 日～3 月 14 日 通信による自主学習と 9 日間の通学	主催：多摩リハビリテーション学院 介護に関する基本的な知識・技術を学ぶための研修

15-10

【食事委員会】

令和4年度は、『手作りを基本に利用者が楽しんで頂ける食事を提供』を目標に活動をしました。

例えば料理クラブでは新型コロナウイルス感染状況に伴い、開催の有無を衛生委員会で確認し、活動における注意点の検討を行い、利用者が安全に楽しく取り組めるように話し合いをしました。食事関係の備品の受け入れについては、要望通りに購入し衛生面にも配慮するように協議しました。また、業務マニュアルの内容確認や、中止していた固形おやつについて意見交換を行いました。

今後も目標達成には改善しなくてはならない課題があるため、各部署連携を取りご利用者が満足でき、楽しめる食事提供を心掛けていきます。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和4年 4月13日	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の目標 ・予備の食器の確認 ・誕生日食について
令和4年 6月8日	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の目標決定 ・料理クラブについて
令和4年 8月20日	書面議決	新型コロナウイルス感染症感染予防のため書面議決 <ul style="list-style-type: none"> ・料理クラブについて
令和4年 10月12日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の行事食について ・料理クラブについて ・選択食について
令和4年 12月	書面議決	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため書面議決 <ul style="list-style-type: none"> ・療養食について ・選択食について ・固形おやつについて
令和5年 2月8日	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・料理クラブ・選択食についての報告 ・マニュアル委員会の依頼の件について ・今年度の反省 ・今年度の目標についての課題 ・利用者の意見 ・まとめ

15-11

【広報委員会】

広報委員会の主な活動として広報紙「やすらぎかわら版」の発行を行うことができました。季節に合わせた行事や外出などを取り扱い4回(4月、7月、10月、1月)発行することができました。今年度はご利用者の「笑顔」をテーマに写真をメインに掲載しました。ご家族や地域の方、入所申し込みいただいた方に配布することで苑での取り組みを発信することができる重要なツールとなりました。

ホームページでは「やすらぎ日記」上にて日々の様子を発信し、1日平均30ほどのアクセスがあります。また、西多摩特養ガイドにおいては申込を受け付ける重要なツールとなっており、こまめな更新を行い例年通りの申し込みがありました。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和4年 4月15日	3名	<ul style="list-style-type: none">・今年度の取り組みについて・ホームページの編集・西多摩特養ガイドの編集・やすらぎかわら版夏号の作成について
令和4年 8月25日	4名	<ul style="list-style-type: none">・やすらぎかわら版秋号の作成について
令和5年 11月3日	4名	<ul style="list-style-type: none">・やすらぎかわら版冬号の作成について
令和4年 2月3日	3名	<ul style="list-style-type: none">・やすらぎかわら版春号の作成について

15-12

【排泄委員会】

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
4年5月11日	7名参加	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度おむつの当て方の研修を実施予定 ・シャワーボトルの購入検討 ・清拭保温バックの購入 ・各フロアからの排泄に対しての声を聴く ・泄状況に応じた排泄物品の選定、使用リストの更新
4年7月	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・購入物品 シャワーボトル 清拭保温バック 両方とも1万円の購入額を超えるため起案書の作成を行う ・研修の内容、開催について ・排泄状況に応じた排泄物品の選定、使用リストの更新
3年9月14日	6名参加	<ul style="list-style-type: none"> ・研修について 今年度はコロナウイルスの件もあり、動画視聴型の研修にする。(10月開催) ・4本の動画を本人のスキルに合わせ視聴 ・「IAD：失禁関連皮膚炎」について知ってもらう ・白十字によるオムツ、パット類の説明を発信 ・排泄状況に応じた排泄物品の選定、使用リストの更新
4年11月	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・10月に自主学習として使用等の配布を行った ・ユニ・チャームの導入検討 ・排泄状況に応じた排泄物品の選定、使用リストの更新
4年1月	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・苑内でクラスター発生、罹患された方は体力低下がみられるため尿路感染、皮膚異常などの注意喚起を行う。 ・排泄状況に応じた排泄物品の選定、使用リストの更新
5年3月	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の振り返り

15-13

【マニュアル策定委員会】

マニュアル策定委員会は書面による開催を基本とし、各課との協議が必要な手順書については、委員長が招集を行い、委員会を開催してきました。

マニュアル策定委員会が中心となって、各委員会、各課手順書の継続的な見直し、新たに業務に必要な手順書の作成を行ってきました。

開催日	出席人数	主な検討事項
令和4年 5月5日(木)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取り組みについて ・各課進捗状況について
7月7日(木)	書面開催	<p>[介護課]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階フロア勤務形態 手順書更新 令和4年7月23日より運用開始 早番業務(1-1)早番業務(1-2) 遅番業務(1-3) 日勤リーダー業務(1-4)日勤業務(1-5) 夜勤業務(1-6) ・短期入所者 所持品チェック(1-37) 手順書更新 令和4年5月5日より運用開始 ・新規手順書 健康診断(利用者)【管理番号 1-66】 令和4年6月12日より運用開始 <p>[看護課]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規手順書 健康診断 【管理番号 2-14】 令和4年7月1日より運用開始
9月1日(木)	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間急変時の手順書について各課と連絡手順、急変場面を想定した対応方法について ・各課進捗状況について
11月3日(木)	書面開催	<p>[介護課]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急変時対応(1-44) 手順書更新 令和4年11月8日より運用開始 ① 発見時の対応 ② 救命措置の流れ ③ 急変時の連絡手順・役割分担
令和5年1月5日(木)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・各課進捗状況について
令和5年3月2日(木)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会(排泄・入浴・食事・口腔)手順書の見直し ・各課進捗状況について

15-14

【行事委員会】

昨年度に引き続き新型コロナウイルスの流、施設内でのクラスターにより、地域・家族・ボランティアが参加できる行事を縮小もしくは中止する事が多くありました。他施設交流や地域行事(自治会、祭り)も制限のある中での参加や情報共有に留まりましたが、引き続き地域に根付いた施設として交流事業を行います。新型コロナウイルスのため計画通りの実施が難しかったですが、計画書 7 日前・各フロアの動き 3 日前・報告書 7 日後までの提出を目途に運営しました。各行事を担当制にし、フロア毎でしか行なうことの出来ない行事でも各課・各フロアが協力し実施することができました。

実施行事一覧

月	行事名	開催日	参加人数	実施内容
4 月	春の満喫ドライブ	20 日	4 名	日ノ出町、鹿野大仏
5 月	端午の節句	7 日	27 名	1 階多目的ホールに飾ってある兜と写真を撮る。
	つつじ見物	18 日	4 名	西多摩霊園を予定していたが、つつじが終わっているため、新町植木内公園へ変更しバラ見物を行った。
6 月	アジサイ見物	15 日	4 名	友田レクリエーション広場
	季節に合った楽しみを見つける <第 1 弾> らっきょう漬	2 日、3 日	15 名	友田レクリエーション広場 らっきょうの皮をむき、塩でもみ、らっきょう酢に漬ける。 季節の物に触れる、匂いを嗅ぐ、見る等で季節を感じ他者と交流を行う事で気分転換を図る。
	梅の実もぎ	16 日	3 名	職員がもいだ梅をバケツで受け取ったり、高枝切ばさみを使って梅を収穫した。 久保理事長宅の梅の実の収穫。
	季節に合った楽しみを見つける	22 日、24 日	8 名	成木 3 丁目の河川敷にてホテル観賞し季節を感じる。

	<第2弾> 蛍を見に行こう			
	季節に合った楽しみを見つける<第3弾> 梅ジュース、梅干し作り	29日	16名	梅の実を洗い、穴をあけ塩や氷砂糖に漬ける。 季節の物に触れる、匂いを嗅ぐ、見る等で季節を感じ他者と交流を行う事で気分転換を図る
7月	七夕飾り	1日～ 7日	全利用者対象	短冊に願いを書き笹に飾り、一緒に写真を撮り、季節を感じた。
8月	夏祭り	8月7日 ～ 9月8日	全利用者対象	新型コロナ感染症のため8/7(日)予定は中止し、企画を変更し実施。 1階多目的ホールで職員が企画作成した「モグラたたきゲーム」「ボッチャゲーム」を8/7～9/8の期間展示を行い、2階3階のご利用者の時間をずらし楽しんでいただきました。 また、職員が企画作成した「フォトコーナー」は各フロアで10日間の期間飾り、目で見ても手に取り楽しんで頂き、一人一人写真撮影を行いました。
9月	敬老祝賀会	21日	全利用者	各フロア同時進行できる様モニター設置し配信行った。賀寿者紹介、施設長からお祝いの言葉、井上信治衆議院議員からの祝電紹介、賀寿者代表へ花束贈呈を行い、乾杯をして祝い膳を召し上がりました。 新型コロナウイルスのためご家族・来賓の参加は不可。全国的に感染拡大しており、感染対策を優先する形で実施。

10月	文化祭	19日	44名	<p>コロナ感染症対策として2階3階の時間をずらし2回に分けて行いました。</p> <p>職員によるお琴、太鼓の演奏を鑑賞しました。</p> <p>職員による車椅子風船バレーの鑑賞、応援、参加。</p> <p>掲示物を飾り鑑賞しました。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で外部からの見学者の受け入れは出来ないが、感染対策を行いながら実施。</p>
	焼き芋会(2階)	9日	32名	<p>1階多目的ホールに降り、新聞紙とアルミホイルで芋を包んでもらう。包んでもらった芋を多目的ホールの外に出て炭が入ったドラム缶に入れて、焼けていく様子を見ながら外の冷たい風や焚火の暖かさを肌で感じて季節感を味わいました。</p> <p>・焼いた芋はその日のおやつ時に提供し、全利用者が召し上がりました。</p>
	焼き芋会(3階)	16日		<p>13日より3階でコロナ感染者が発生したため1階での催しは中止。</p> <p>職員が焼いた芋をおやつとして提供。</p>
12月	クリスマス会	21日		<p>苑内で新型コロナウイルス感染拡大のため中止。</p>
	大晦日歌って振り返る2022年	31日	12名	<p>テレビを使用し音楽レクボランティアの斎藤さんの自宅からリモートでつながりピアノの伴奏に合わせて、童謡、昭和の歌謡曲を歌う。</p> <p>感染対策を優先する形で実施。</p>

1月	正月イベント (2階)	1日	37名	<p>コロナ感染症対策中だったが、少しでも「正月」が感じられるよう訪室可能な居室へ伺い、形代(札)を使い名前を記帳し調子の悪い身体の部位を擦りご祈祷を受ける。</p> <p>感染対策を優先する形で実施。</p>
	初詣 (3階)	1、3、4日	40名	<p>312居室を使用し少しでも「正月」を感じられるよう初詣を行った。</p> <p>感染対策を優先する形で実施。</p>
2月	節分祭	3日	75名	<p>1階多目的ホールでアトラクションを3種楽しむ形で行った。</p> <p>①鬼のイラストを貼ったボウリングのピンめがけて投げてもらおうポッチャボウリング。</p> <p>②鳥居を用意し、宮司に見立てた職員から邪気を払ってもらおう。</p> <p>③節分祭写真撮影ボードを用意し写真撮影を行う。</p> <p>各居室を廻り、居室で過ごされていた方にも雰囲気を楽しんで頂き、写真撮影を行う。</p> <p>感染対策を優先する形で実施。</p>
3月	観桜会 week	25日～31日	全利用者	<p>ベランダや1階多目的ホール外へ出て春の陽気や香りを感じ、桜や景色を愛でながら写真撮影を行う。天候の悪い日や体調面などで外へ出られない方の為に野点の雰囲気を作り桜の枝を購入し施設内で鑑賞や写真撮影ができるようにした。</p> <p>栄養課からは春をイメージしたデザートをおやつ時に提供。1週間は午前と午後、お花見の時に暖かい飲み物を飲めるよう、甘めの麦茶を依頼した。</p>

15-15

【入浴委員会】

ご利用者の健康状態を把握し「安心、安全、安楽」に入浴していただけるよう努めました。令和4年度も、コロナ感染対策として換気、消毒を行いフロアごとに分かれての入浴、ショートステイご利用者の入浴介助を行いました。

一般浴室内のカビ対策として、換気設備の設置、また換気や清掃に努め、ご利用者にとって、快適な空間を作る事ができました。コロナ禍で不自由なことはありましたが、菖蒲や柚子で季節を感じたり、職員とご利用者との間のコミュニケーションにより、入浴時間を楽しんでいただけました。次年度も引き続き感染対策を行い、ご利用者にとって快適な時間を提供できる様、努めていきます。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和4年4月13日	2人	・今年度の課題、目標について
令和4年6月8日	9人	・感染予防対策について ・入浴手順のマニュアルの見直し
令和4年8月10日	議題無しのため 開催せず	
令和4年10月12日	議題無しのため 開催せず	
令和4年12月14日	感染症対策のため開催せず。連絡事項の報告のみ行う。	・浴室の清掃 ・ブラシ、爪切り、ニッパーの購入
令和4年2月8日	感染症対策のため開催せず。	

15-16

【口腔ケア委員会】

口腔ケアは、口の中を清潔にするだけでなく、歯や口の疾患を予防し、口腔内の機能を維持し QOL の向上のみならず誤嚥性肺炎などの全身疾患の予防、全身の健康状態の維持・向上にもつながる重要なものです。当施設においては、自力で口腔ケアを行うことが困難な方や自力で口腔ケアができて加齢と共に十分な保清動作ができず、口腔内が不衛生になったり、機能的に低下したりしていくリスクを抱えた方が生活されています。個別の状況に応じた支援をするためには、チームによる口腔内状態の評価や適切な口腔ケア技術、口腔機能を維持する為の知識の向上に努めていく必要があります。

歯科医師からの指導や助言をもとに口腔委員が中心となって情報を発信していき、職員の知識と技術の向上を目指し、口腔衛生の維持・改善に努めております。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和4年 5月11日(水)	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度上半期分の口腔ケア用品の発注について ・「口腔衛生管理に係る助言・指導内容」の作成について ・新規入所者の口腔ケア用品の準備について ・退所者が使用していたコップの扱いについて ・過去に作成した研修用資料の活用について
7月13日(水)	—	※業務の都合により開催せず
9月14日(水)	サイボウズ上にて開催	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度下半期分の口腔ケア用品の発注について ・もとえデンタルクリニック受診の際のケース記録の方法について
11月9日(水)	サイボウズ上にて開催	<ul style="list-style-type: none"> ・フロアで保管している不使用の義歯の保管方法について ・鈴木淳子先生よりおやつと食事の区別をしっかりと行うようにとの指導あり
1月11日(水)	サイボウズ上にて開催	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策後の歯科診察及び歯科ケアの再開予定について
3月8日(水)	サイボウズ上にて開催	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策後の歯科診察及び口腔ケアの再開について ・口腔ケアの開始時間及び準備について ・次年度の委員への引き継ぎについて

15-17

【感染症対策委員会】

第4木曜日午後に開催しました。

主に、新型コロナウイルス(COVID-19)感染予防対策、施設内感染に備え防護服着用方法の研修会を行い徹底してきました。年2回、感染症に関する研修会、防護服研修、食中毒研修会を開催し再確認を行ってきました。

昨年末に新型コロナウイルス肺炎(COVID-19)の流行に伴い施設内クラスターの発生となり、スタンダードプリコーションの徹底、外部の感染予防対策指導員を招き、見直し指導していただき終息に向けて努力しました。

ご利用者、ご家族には不自由をおかけしていますが、ご家族の理解を求め面会の制限をさせていただき、また外部の施設内の出入りも最小限にして感染予防に努めました。

ご利用者の健康管理の徹底と職員による感染持ち込みを防ぐために職員の健康管理、体調不良時の休暇体制を整えたり、検査体制を充実させてきました。また定期的に検査を行い感染予防対策に努めました。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和4年 4月28日	11名	<ul style="list-style-type: none"> *新型コロナウイルス感染症への対応・対策について <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して継続 *新型コロナ感染症発生時の対応について *面会、カンファレンスの実施について *職員、抗原検査、PCR検査の継続について
5月26日	11名	<ul style="list-style-type: none"> *新型コロナ感染症発症時の対応について *面会、カンファレンスの再開について (教育、介護実習生の受け入れについて) *6月、食中毒研修予定
6月23日	12名	<ul style="list-style-type: none"> *新型コロナ感染症、熱中症対策について *面会、カンファレンスの実施について *他市でのインフルエンザ発症報告あり
7月28日	11名	<ul style="list-style-type: none"> *職員新型コロナ感染罹患者の対応について (PCR検査にて4名罹患) *体調不良者の対応について(脱水予防) *職員新型コロナワクチン接種について(個人申し込み)
8月25日	12名	<ul style="list-style-type: none"> *新型コロナ感染症、感染拡大について *面会の中止、オンラインでの面会に変更

		<ul style="list-style-type: none"> * 体調不良者の対応について(看取りケア中の面会含む) * 定期健康診断の日程、方法について
9月22日	11名	<ul style="list-style-type: none"> * 新型コロナ感染症職員罹患について * ビニールシート超しでの面会再開について * インフルエンザ予防接種について * 定期健康診断施行、産業医指導
10月27日	12名	<ul style="list-style-type: none"> * インフルエンザ予防接種について <ul style="list-style-type: none"> ・ 早期の感染報告あり 10月20日以降職員開始する * 新型コロナ PCR 検査継続。ワクチン接種の推奨 * 定期健康診断結果指導実施中
11月	—	<ul style="list-style-type: none"> * インフルエンザ予防接種施行中 * 新型コロナ感染症クラスター発生の為書面会議 * 外部より感染予防専任講師を招き実施指導
12月	—	<ul style="list-style-type: none"> * 新型コロナウイルス感染予防策継続 * 新型コロナ感染症クラスター発生により書面会議 * インフルエンザ感染について
令和5年 1月26日	12名	<ul style="list-style-type: none"> * 新型コロナ感染症終息につて * 新型コロナ感染症今後の対応について * インフルエンザ感染流行拡大中。W感染の可能性あり * 感染予防対策振り返り研修
2月23日	11名	<ul style="list-style-type: none"> * 新型コロナ感染症後遺症による体調不良者の対応について * 新型コロナウイルス対応について <ul style="list-style-type: none"> ・ 換気調査中・アクリル板の設置 * インフルエンザ感染の自宅待機期間の変更について
3月23日	11名	<ul style="list-style-type: none"> * 新型コロナ感染症後遺症による体調不良者の対応について * 新型コロナウイルスの対応について(アクリル板設置) * 職員 PCR 検査継続、抗原検査一時中止 * インフルエンザ感染の自宅待機期間の変更について

令和4年11月に発生した新型コロナウイルスクラスターのまとめ

・経過概要

11月9日、介護課3F職員1名の感染が確認される。12日午前から3Fご利用者1名の発熱が確認され個室対応にて経過観察、翌13日抗原検査を実施し陽性が確認される。症状が継続していたため、ご家族了承のもと抗ウイルス薬ラゲブリオを処方、あさす薬局の協力もありその後、多くのご利用者に処方を行い、快復へ向かった。

11月30日までに3Fご利用者30名の感染確認後、翌12月1日に2Fご利用者1名の感染が確認されてから2Fへの感染に移り12月25日までに31名の感染が確認された。2か月に及ぶクラスター期間中、ご利用者61名および職員22名の感染が確認され、4名の職員にはご家族感染があり、自宅待機指示を出している。コロナウイルス感染後9名のご利用者が医療機関に入院されている。また、感染後3月31日までにADL低下や食欲低下、老衰等を含め7名が亡くなっている。

最後に感染が確認された12月25日から10日間の経過観察後、新規感染者が現れなかったため1月4日から緩和対応を実施し、1月9日に西多摩保健所へ報告を行い、終息の判断となる。

・基本対応

☆ご利用者対応

- ・感染者対応時はPPE(ガウン、N95マスク、グローブ2重、ヘアキャップ、フェイスシールドの着用)、手指消毒を徹底して行った。
- ・感染が確認された方は個室での隔離対応を実施した。感染者が増加傾向にある時は、個室対応で収めることができなかつたため、多床室にて対応、感染居室とした。
- ・感染初期、感染が確認された居室のご利用者は居室対応をとる。しかし、拡大が止まらなかつたためフロア全体のゾーニングを実施した。フロア全体をレッドゾーンとし、3Fは東側階段にて衛生物品を用意し、専用の出入口とした。2Fは看護師室前に衛生物品を用意し、3Fと導線が交わらないように注意した。感染者、非感染者問わず居室での生活をお願いした。
- ・感染者の食事用食器は使い捨てのものを使用した。
- ・入浴はフロアの職員で対応することとした。感染期間中は清拭および衣類交換にて対応。
- ・面会、理美容、各往診は中止とした。
- ・新規入所、ショートステイの受け入れも中止とした。

☆職員対応

- ・全職員出勤時に抗原検査を実施。週1回のPCR検査は継続して実施。
- ・更衣室、食事場所など1Fの導線が交わらないよう使用場所を分けた。
- ・感染が確認された職員は7日間の待機とし、症状が継続した場合は最大10日間の待機支持とした。(10日目まで感染を広げるリスクがあると考えられたため)
- ・会議の実施は中止し、サイボウズ・ほのぼのでの情報発信を行った。
- ・感染状況は職員用グループラインおよびメールにて逐次発信した。

☆その他

- ・保健所への発生届の提出、青梅市への事故発生届の提出、ホームページでの情報公開を都度行った。

・コロナ対応にかかる購入物品一覧

品名	注文日	数量	単価	金額	合計(税込み)
紙コップ	11月22日	20	519	10,380	10,380
RP 井	11月22日	40	449	17,960	
P カップ		10	599	5,990	
スプーン(白)		2	2,990	5,980	29,930
プラスチックスプーン	12月2日	19	419	7,961	7,961
紙コップ	12月2日	30	519	15,570	
RP 井		80	449	35,920	
P カップ		20	599	11,980	
スプーン(白)		6	3,390	20,340	83,810
RP 井	12月6日	48	336	16,128	
紙コップ		30	298	8,940	
P カップ		20	398	7,960	
スプーン(白)		8	333	2,664	
銀カップ		6	792	4,752	40,444

プラスチックグローブ S	11月24日	3	3,190	9,570	
プラスチックグローブ M		10	3,190	31,900	
プラスチックグローブ L		6	3,190	19,140	
ペーパータオル		3	3,003	9,009	69,619
プラスチックグローブ S	11月28日	5	3,190	15,950	
プラスチックグローブ M		10	3,190	31,900	
プラスチックグローブ L		6	3,190	9,570	
ペーパータオル		3	3,003	9,009	66,429
プラスチックガウン	11月26日	4	7,700	30,800	
ヘアキャップ		1	3,894	3,894	
プラスチックエプロン (袖なし)		1	6,985	6,985	41,679
プラスチックグローブ S	12月15日	3	3,190	9,570	
プラスチックグローブ M		10	3,190	31,900	
プラスチックグローブ L		5	3,190	15,950	
ペーパータオル		10	3,003	9,009	66,429
プラスチックグローブ S	12月22日	10	3,190	31,900	
プラスチックグローブ M		50	3,190	159,500	
プラスチックグローブ L		25	3,190	79,750	271,150
ヘアキャップ	12月13日	2	3,894	7,788	7,788
プラスチックガウン	12月9日	2	7,700	15,400	15,400
プラスチックガウン	12月16日	6	7,700	46,200	46,200
プラスチックエプロン (袖なし)	12月8日	2	6,985	13,970	13,970

プラスチックエプロン（袖なし）	12月23日	2	6,985	13,970	13,970
N95 マスク 50 枚入り	11月14日	4	8,120	32,480	32,480
N95 マスク 50 枚入り×10	11月22日	1	79,200	79,200	79,200
N95 マスク 50 枚入り	11月22日	2	8,800	17,600	17,600
N95 マスク 50 枚入り	11月22日	2	8,800	17,600	17,600
N95 マスク 50 枚入り	11月23日	4	8,800	35,200	35,200
N95 マスク 50 枚入り×10	12月3日	1	79,200	79,200	79,200
N95 マスク 50 枚入り×10	12月13日	1	79,200	79,200	79,200
N95 マスク 50 枚入り×10	12月26日	1	79,200	79,200	79,200
アルコール 18L	11月14日	2	6,399	12,798	12,798
アルコール 18L	11月21日	2	5,900	11,800	11,800
アルコール 18L	11月28日	3	5,799	17,397	17,397
アルコール 18L	12月2日	3	5,530	16,590	16,590
アルコール 18L	12月7日	4	5,420	21,680	21,030
アルコール 18L	12月16日	4	4,780	19,120	19,120

アルコール 18L	12月25日	4	4,890	19,560	19,560
食食用エプロン	11月28日	1	4,336	4,336	4,336
シルコットピュアウォーター	11月19日	3	1,080	3,240	
紙袋 (マスク入れ)		2	498	996	4,236
シルコットピュアウォーター	11月24日	1	1,080	1,080	
紙袋 (マスク入れ)		3	448	1,344	2,424
紙袋 (マスク入れ)	12月17日	3	448	1,344	
レジ袋		1	158	158	1,502
紙袋 (マスク入れ)	12月30日	4	380	1,520	1,520
ゴミ用ビニール袋 TL45	12月7日	5			25,850
ゴミ用ビニール袋 TL45	12月15日	6			
ゴミ用ビニール袋 KT33		3			
ゴミ用ビニール袋 TA35		3			78,870
パルスオキシメーター	11月14日	3	4,990	14,970	14,970
聴診器	11月15日	2	12,570	25,140	25,140
スタンドミラー	11月30日	1	2,490	2,490	2,490
ポリバケツ 45L 蓋	11月15日	2	398	796	
面会用透明クロス		1	980	980	
ポリバケツ 45L		2	980	1,960	
養生テープ 赤		1	298	298	
養生テープ 緑		1	248	248	4,282

足踏み式ゴミ箱 45L	11月21日	1	1,480	1,480	1,480
電源タップ	11月22日	2	598	1,196	
ボックス		2	1,280	2,560	
キャスターワゴン		2	1,480	2,960	6,716
足踏み式ゴミ箱	11月24日	2	1,980	3,960	
キャスターワゴン		2	1,480	2,960	6,920
チャック付き小袋	11月21日	4	110	440	
S字フック		4	110	440	
アルコールポンプケース 600ml		4	110	440	1,320
アルコールポンプケース 600ml	12月1日	10	110	1,100	1100
合計					¥1,506,290-

・対応後の職員アンケート

1, 良かった点

《コロナウイルス対応方法について》

- ① 感染症に対する対応の確認ができて良かった。
- ② フロアの往来や使用するエレベーター等職員の動線を分けたことがよかった。
- ③ 排泄交換を1人1部屋で対応する事で少しでもウイルスの蔓延を防げていたと思う。
- ④ 1人目のコロナウイルス陽性者がでた時点で全員居室対応にしたこと。
- ⑤ 居室の入口や扉、コール盤にてテープを使用して色分けしてわかりやすかった。
- ⑥ 課題が山積みだという事がわかったこと。
- ⑦ リハビリなどの介護課以外の協力がありがたかった。
- ⑧ コロナウイルス陽性者がでた時点で隔離用居室を用意したこと。
- ⑨ アルコールを直ぐに使用できる場所に設置してあったこと。
- ⑩ コロナウイルス陽性者のエリアに関わる職員を限定していたこと。(反面、負担もあったが)
- ⑪ 配膳車のルートを細かく決められたこと。

《情報共有・連絡・周知方法について》

- ① 他機関よりゾーニングや感染予防対策についてアドバイスをして頂けた。
- ② ほのぼのやサイボウズの活用ができた部分があった。

《職員関係について》

- ① 毎日抗原検査を行うことで安心できた。
- ② 都度、職員同士意見交換を行い、協力する事ができた。

《物品関係について》

- ① エプロンやヘアキャップ等落ち着くまで交換していたこと。
- ② 必要な物品やお願いに迅速に対応して頂けた。

2, 意見のあった点

《コロナウイルス対応方法について》

- (ア) コロナウイルス感染対応について事前に決まっている事が少なく、その場その場で決めることが多かった。また、最低限の決まり事もなく、一日一日で変化があり、業務を行う上で困惑する場面が多かった。そのため、業務を行う上での動線が悪かったり、余計に感染フロアに物品を補充したり、職員が不安をもって対応する状況

になってしまっていた。

- (イ) コロナウイルス感染対応時のマニュアルが明確化されていなかった。(部署間連携含む)
- (ウ) コロナウイルス感染対応時の廃棄物や汚染物、洗濯方法、食器の取り扱い方法が不明確だった。
- (エ) フロア内や対応職員の消毒方法が適切だったのか。
- (オ) コロナウイルス感染者が確認できた時点でショートステイ利用者はどのような対応をするべきだったのか不明確だった。
- (カ) コロナウイルス感染疑いの利用者を陽性者の居室に移動する事があったが、感染疑いの方を一時的に隔離対応できる居室があるとよかった。
- (キ) マスクやガウン、フェイスシールド等の着用方法に個人差があったり、自分自身が合っているのか不安だったりすることがあった。そのため、定期的に実際に確認したい。
- (ク) コロナウイルス感染者が確認された時点で介護以外の部署がどのような対応(N95マスクを着用等)をするべきか曖昧だった。
- (ケ) 食札の返却がまばらで、食事の準備に支障が出ていた。
- (コ) 換気、室温管理が難しく、最適な方法がわからなかった。
- (サ) コロナウイルスクラスター発生時、各部署の役割分担ができておらず混乱した。
- (シ) 感染後10日経過後、隔離対応を解除するにあたり抗原検査を行ったが、陽性であっても10日経過しているとの理由で隔離対応を解除していたが適切な対応だったのか疑問がある。
- (ス) クラスターフロアへの職員補充はするべきだったのか、しないべきだったのか。また、する必要がある場合、明確化してほしい。
- (セ) コロナウイルス終息後、どのような定義で対応を解除していくのか明確化してほしい。

《コロナウイルスクラスター中の利用者サービスについて》

- ① 急変時の対応方法に不安を感じていた。
- ② 食事の時間を十分に確保できていなかったように感じる。
- ③ 身辺ケア(爪切り、髭剃り、洗髪、清拭、部分清拭など)が充分に行えていなかった。
- ④ クラスター発生時の身体拘束について、ルールと事前の手続きなどが決められていない。
- ⑤ カーテン隔離をしているため、リネン交換は必要最低限ではいけなかったのか？
- ⑥ 陽性者に合わせてしまい、陰性者の生活に支障が出ていた。
- ⑦ 陰性者の臥床時間がながく、拘縮の進行や食事量の低下がみられてしまった。

- ⑧ 居室で過ごして頂く際、身体機能や皮膚状態が悪化しない様にどのような予防方法があるか。

《情報共有・連絡・周知方法について》

- ① 各部署間で連絡調整がうまくできず、決定事項や指示内容の発信方法が確立されていなかった。そのため、正確な情報収集をすることも難しくなっていた。
- ② サイボウズの有効活用ができていなかった。
- ③ 情報がまとまっていなく、利用者家族などの関係者に説明するにあたっての情報収集が難しかった。
- ④ 業務指示の共有がされておらず、職員一人一人対応に違いがあり、困惑した。
- ⑤ 各部署に中心となって情報共有や業務内容の検討、発信、調整を行う職員がいてほしかった。
- ⑥ 疑問や問題に対して積極的に検討してもらえないことがあった。
- ⑦ 他機関との連携（通院等）やターミナル対応の方向性が難しかった。
- ⑧ 業務の変更点が分かりづらかった。そのため、専用のノートや重要点を明確化してほしかった。
- ⑨ 2階と3階で情報共有がされていなかった。

《職員関係について》

- ① 人員に余裕がなく、コロナウイルス対応に不安もあり、職員が殺気だっていたり、口調がきつくなっていたりした。
- ② 職員のコロナウイルス感染リスクの管理（疲労などでの免疫力低下、重症化リスク管理など）、感染後の復帰タイミングが部署によって違う事があったため、基本対応の明確化してほしい。
- ③ コロナウイルス対応において不安を感じる部分が多くあった。そのため、全ての不安をなくすことはできなくても、不安を軽減できるような細かなマニュアルがあるとよかった。
- ④ 感染した職員に対してや対応している職員を気遣うなどの配慮が不足していたように感じた。
- ⑤ 日々の変化への対応が難しく、環境変化による精神的負担があった。そのため、職員のメンタルケアも必要に感じた。
- ⑥ 介護課だけでなく、ガウンなどいつ着用するか分からないため、事前に研修などで学びたい。
- ⑦ 職員食の時間をずらすだけでなく、場所も分けた方がいいと思った。炊飯器等共有で使用するものも別で配置して完全に分けた方が良かったのではないかと思う。
- ⑧ 日中に役職者がいないことが多く、困ることがあった。

- ⑨ 職員用トイレの使用がよくわからなかった。
- ⑩ 職員で持病がある職員は陽性部屋の対応をするのかしないのかわからなかった。また、発信がなく不安だった。そのため、基礎疾患がある職員に対しての対応を明確化してほしい。
- ⑪ 夜勤で仮眠する際にどのようにして休めばよいかわからなかった。また、換気をしていたため室温も低く、休憩の環境が悪かった。
- ⑫ 一部勤務に業務の負担が偏っていた。(陽性者の対応と記録)
- ⑬ コロナウイルスの対応で疑問に思う声はあったが、その意見を言えたり、きいたりする環境がなかった。
- ⑭ 2階、3階を比較してどちらがきちんと対応しているしていなと等いうことで対応している職員を追い詰めていたように感じた。
- ⑮ レッドゾーンに飲食物を持ち込めないため、水分補給の時間が充分にとることができなかつたため、休憩時間を変更した方がよかつたのではないか？
- ⑯ 家族が陽性になった際、濃厚接触者での出勤時の対応方法を明確化して欲しい。
(本人が感染し、回復後の場合)
- ⑰ 職員または家族感染時、抗原検査キットの提出など証明方法が不明確だった。
- ⑱ 職員間の意識統一がされていなかった。

《物品について》

- ・パーティションなどの物品不足があつた。
- ・フロアの換気システムの修理を優先してやってもよかつたのでは？
- ・備品の管理ができていない。
- ・インカムなどを使用して、下膳や対応の情報共有を中と外でできるとよいのでは？

3、今後について

上記のよかつた点を生かしながらか意見のあつた点について検討を行つていく。今後、いつ同様のことが起きててもスムーズに対応できる環境を整えていく。

・クラスター中の対応策

感染が拡大する中 11 月 21 日、西多摩保健所三好様と青梅総合病院感染管理認定看護師の栗田様に来苑していただき、現状の対応方法に関してご指摘をいただいた。

☆具体的な指摘内容

- ・ 3F 会議室をグリーンゾーンとして活用すること
- ・ ワーカー室に私物、飲み物を持ち込まないことの徹底
- ・ 感染者対応時の袖なしエプロンの使用
- ・ PPE の着脱に関して写真付きでマニュアルを掲示すること
- ・ 物品を床に直置きしないこと
- ・ 居室のドアを都度閉めること

・今回の反省および今後の対応策

当苑においては介護施設という性質上ひとつ屋根の下で 100 名のご利用者および 80 名の職員が関わり共同生活を営むものであり、コロナウイルスに限らず今後も感染症の集団発生が起り得やすい環境である特殊性はご利用者の生活と切り離せないものであるという前提は変わらない。

苑内にウイルスを持ち込まないことは重要な因子であるが、職員一人ひとりにはそれぞれの生活があり、外出規制などの制限をかけることは適当ではない。そのため感染症に対してゼロリスクを継続するのではなく、感染症が発生した場合の拡大予防策を丁寧に実施していくことがより重要であると考えます。

今回の反省として大きく以下 3 点が挙げられる。

まず第 1 に、多床室における隔離対応が想定できておらず、推察ではあるが空気感染を防ぐことができなかったことが挙げられる。換気の周知徹底が行えなかったこと、換気能力を把握できておらず、換気設備が完全には機能できていなかったことがあった。今後換気設備の更新、物品の整備について早急に決定しなければならない。

第 2 に、2F への感染拡大を止めることができなかったのかという点で課題が残る。感染経路の追跡は困難であったため、どのように 2F のご利用者へ感染が移行したかは確認することはできないが、フロアの受け持ちを分担すること、導線の確認などはその都度十分に考慮しなければならない。2F と 3F ではほぼ同数の感染が確認され、対応期間も倍増してしまったことを考えると 3F のみで感染抑止できなかったことは反省である。

第 3 に全体の対応方針について、想定外の対応を次々に決定しなければならなかったという実情がある。職員アンケートにも複数意見が挙げられていたが、対応の変更が相次いだり、周知が不足しているという声は多く聞かれている。今回の反省を踏まえ、基本となるマニュアルを固めること、可能な限りの想定外を減らすこと、ご利用者の生活への支障、職員の負担軽減を図れるように改善に努めなければならない。

15-18

【防災委員会】

本年度は吹上自治会との合同防災訓練を実施することができました。しかしながら、応援協定書の更新には至っておらず、引き続き内容検討と更新に向けての話し合いを続けていく予定です。

今後 30 年以内に南海トラフ地震、首都直下地震、富士山噴火等大災害が予想されています。それらに対応し可能な限り被害を少なく抑えるためにも防災訓練は非常に重要な意味を持ちます。緊急時に対応できるよう役に立つ防災訓練、知識の習得が今後の課題となります。あわせて事業継続計画（BCP）の見直し、更新を行いながら職員への研修が必要となります。本年度の課題として職員に対しての防災活動の研修、周知が不足していたため災害時の避難誘導、消防対応など職員への研修もあわせて実施していきます。

防災訓練実施内容

実施日	参加人数	訓練内容
令和 4 年 12 月	全職員	非常食の配布と、災害時の備えや避難について紙資料を配布し周知する。
令和 5 年 3 月 12 日	職員 3 名 吹上自治会 7 名	火災発生時の避難誘導訓練 非常階段を使用しての車椅子利用者の誘導方法 避難経路の確認 非常時の設備説明、非常食の配布を行った。 ※令和 4 年 12 月に開催予定だったが、クラスター発生のため、延期にて開催

15-19

【IT委員会】

今年度、PC機器のリース更新にあたり使用台数および機種の検討において役割を果たすことができました。更新までのデータ移行の準備、当日の入れ替えを問題なく行うことができました。

また、眠りスキヤンの活用、電源ケーブルの安全な設置について検討を行った。見守り機器の活用のための委員会を兼ねており、職員への使用方法の周知などもあわせている。

会議は定期開催はしなかったが、サイボウズ上のメッセージにて情報収集を行った。

15-20

【介護会議】

事前に議題を募り、各フロア・委員会・他部署からの意見や要望について協議を行い、利用者サービスの向上に展開していけるように話し合いを行いました。検討内容によっては他部署の役職にも協力して頂き、部署間の調整・連携を行いながら決定していきました。介護会議としては月に1回の開催になりますが、早急に対応が必要な議案は都度対応を行っています。

新型コロナウイルスの発生に伴い開催できないことや書面決議がありましたが、サイボウズなどのツールを使用することにより職員が直接集まらなくても会議として成立するような対応を実施しました。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和4年 4月14日	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・5月 職員面談実施予定（年/3回 職員面談を計画） ・令和3年度事業報告書作成（期限：4月末日まで） ・吸引研修について
令和4年 5月12日	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・夏掛け布団への変更 ・職員の勤務について ・※『LIFE 入力』について確認 ・7月に特養入所のベッド数の変更 ・フロアの職員の不足時にリハビリ課へのヘルプ依頼について ・障がい者雇用で行っている消毒業務についての相馬主任からの発信について ・移動販売(いなげや)について(移動販売車) ・洗濯場の棚のご利用者の名前のシールを色分けしていく
令和4年 6月2日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・居室の活用について(ショートステイ、特養入所) ・介護課職員の制服について ・倉持ワーカー6月4日より介護休暇取得(復帰未定)
令和4年 7月7日	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスマナー研修について ・賞与の減額について ・8月から毎週金曜日の移動販売<とくし丸>について ・行事委員会より 花火大会の実施について

令和4年 8月	書面決議	・ご利用者衣類の名前付けについて
令和4年 9月1日	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・9月21日は敬老会の為、理美容は中止 ・新規特養入所の荷物チェックについて ・移動販売実施に伴い入浴日の変更 ・9月14日健康診断に伴う入浴の変更について
令和4年 10月6日	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・とくし丸移動販売日の入浴について ・今年度予算計上している物品について洗い出しを行った ・9月サービスマナー研修（接遇について）
令和4年 11月	書面決議	・令和5年度の予算を各自確認し、とりまとめ入力する
令和3年 12月	—	新型コロナウイルス発生につき開催せず
令和5年 1月	—	新型コロナウイルス発生につき開催せず
令和5年 2月2日	2名	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症発生時の居室移動の際、ご利用者の物品の移動について ・新しいパット（ライフリーの物）について ・夜間の体位変換について ・職員の昼休憩について ・ご利用者のコロナワクチン5回目接種について ・令和5年度委員会について
令和5年 3月1日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・新規入所者の方の入浴袋の名前付けについて ・役職業務の洗い出し・振り分け ・膀胱留置カテーテルに対する知識の周知

15-21

【介護課フロア会議】

2F

令和4年度は人員の確保が困難であったり新型コロナウイルスの発生に伴い開催ができないことがありました。サイボウズを活用し対面ではなくサイボウズ内で議題を募り検討することにより会議の開催日以外でも検討、決定を行い迅速に対応できました。

会議内容としてはご利用者の対応や業務の課題を挙げて問題を解決していくことでサービスの充実へと結びつくよう努めていきました。またフロア会議を利用して他部署による研修を行うなど時間の有効活用に努めてきました。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和4年 4月20日(水)	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・言葉遣いについて ・髭剃りについて ・臥床時のひざ掛けや靴下の置き場所について
5月18日(水)	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・ご利用者の臥床時の靴の置き場所について ・ご利用者 T 様の入浴方法について
6月15日(水)	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・リハビリ課より移乗介助について
7月20日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議
8月17日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・ほのぼのネクストトップ指示の活用開始 ・とくし丸買い物ノートの活用
9月21日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・ご利用者対応について ・メイバランスの作成時間について ・マックデリバリーについて ・ショートステイご利用者の荷物チェックについて
10月19日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・ご利用者衣類について ・食事テーブルの配置見直し ・ライフリーパット試供品の使用について
11月16日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議

		<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者のトイレ誘導の見直しについて ・ご利用者の手指消毒、フロアの消毒について ・利用者の身だしなみについて ・ユニ・チャームライフリー（パット）の使用開始 ・2階フロアのコロナ感染予防対策について
12月21日（水）	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・コロナ対応について
令和5年 1月18日（水）	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議
2月15日（水）	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・食事席の変更について。パーテーションの設置開始 ・胃瘻対応のご利用者の口腔ケアについて
3月15日（水）	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・ご利用者の衣類対応について ・早番の業務の流れについて

3F

令和4年度は、7月・11月・12月は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、8月・10月・令和5年3月は業務の都合により書面開催としました。その他の月は第4水曜日に開催する事ができました。

ご利用者への対応や業務についての課題を挙げ、会議を通して問題を解決していくことでサービスの充実へと結びつくよう努めました。

また事前にフロア職員に議題とその議題に対する意見を出してもらう事により、会議の時間短縮と各職員の意見を会議に反映する事ができたと思います。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和4年 4月27日(水)	9人	<ul style="list-style-type: none"> ・5月の精神科ケース検討会議について ・ご利用者の排泄介助について ・食事介助のマナーについて ・熱中症予防のラクーナ提供について ・昼食後のセンサー確認について ・まるやさんへの洗濯ものについて
令和4年 5月25日(水)	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・6月精神科ケース検討会議について ・ご利用者の起床対応について ・移乗介助について

		<ul style="list-style-type: none"> ・食事席について ・居配者の水分介助について ・早番の動きについて ・排泄表の記入について ・14時の水分提供について ・防水包布の使用について ・ヒヤリハット、事故報告について
令和4年 6月22日(水)	6人	<ul style="list-style-type: none"> ・7月精神科ケース検討会議について ・センサーマットについて ・移乗介助の研修について ・ご利用者の離床対応について ・臥床後の車椅子の位置について ・ヒヤリハット、事故報告について
令和4年 7月	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・8月精神科ケース検討会議について ・ご利用者の排泄介助について ・眠りスキャンセンサー使用について ・スライディングシートについて ・排泄表の記入漏れについて ・ご利用者の食事用エプロン、物品補充について
令和4年 8月	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・9月精神科ケース検討会議について ・ご利用者の排泄介助について ・就寝薬の見直しについて ・一般浴のお湯について ・夕食後のコール対応について ・ヒヤリハット、事故報告について
令和4年 9月28日(水)	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・10月精神科ケース検討会議について ・ご利用者の排泄物品について ・就寝薬について ・ご利用者の食事形態について ・ヒヤリハット、事故報告について
令和4年 10月	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・11月精神科ケース検討会議について ・食事席の変更について ・センサーの確認について ・ヒヤリハット、事故報告について
令和4年 11月	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・12月精神科ケース検討会議について ・新型コロナウイルス感染拡大について

令和4年 12月	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・1月精神科ケース検討会議について
令和5年 1月25日(水)	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・2月精神科ケース検討会議について ・ご利用者の2名対応について ・爪切り、耳掃除について ・洗濯後の靴の返却について ・センサーの見直しについて ・ヒヤリハット対応策について ・身体拘束について ・新型コロナウイルス感染拡大について
令和5年 2月22日(水)	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・3月精神科ケース検討会議について ・センサーマットについて ・ライフリーのパットについて ・ヒヤリハット、事故報告について
令和5年 3月	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・4月精神科ケース検討会議について。 ・夜間のオムツ交換について ・ライフリーのパットについて ・マスクの回収について ・ヒヤリハット、事故報告について

15 - 22

【厨房会議】

基本作業手順・調理技術・安全衛生・緊急時の対応についての検討を行いました。また新型コロナウイルス感染拡大により、作業分担・内容・勤務時間の予定表を作成し状況を話し合いました。今後の感染症発生時の対応として、食材やディスプレイ食器の準備や緊急時の給食依頼について確認をしました。その他、ヒヤリハット・事故予防・食器の衛生管理方法などの問題点について協議しました。

反省としては、日常の業務の中でも基本作業、手順にバラツキが見られる為、引き続き調理の基本・理論を把握し、調理技術及びサービスの向上に努めていきます。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和5年 3月25日	7名	<ul style="list-style-type: none">・緊急時ガス遮断弁解除手順についての確認・各業務担当の見直し・新温冷配膳車の使用方法・その他

15 - 23

【リハビリ課会議】

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和4年 4月21日	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対応の確認 ・入浴時に使用するフレックスボードについて ・外注食時の介助応援について ・今後食事介助のヘルプ対応について ・広報委員会についての発信
7月21日	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りの準備について ・エアマットの修理について ・移乗介助の研修について ・制作リハにて敬老会の花瓶作りについて ・コロナの影響で、動画鑑賞会、制作関係、作業リハの一部が中止となった。
8月18日	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・抱き枕購入について ・担当表更新について ・移乗介助研修のアンケートを作成してフロアへ依頼。 アンケート配布日は22日の予定を延長。 ・移乗介助の研修の日程についての確認。 ・盆踊り実施について 場所は多目的ホールで実施。
9月21日	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・10月4日（火）移乗ボードの外部研修 ・多機能型、チルト型車椅子の入れ替えを検討 ・移乗介助の外部研修（10月2、23日） ・9月中に移乗介助研修（基礎編）のリアクションペーパーの配布を行う。 ・移乗介助研修（基礎編）の研修開始（10月3日～末まで） ※動画研修

16-1

【編み物クラブ】

今年度もボランティアの方の活動の受け入れも中止し施設内のみで随時個別に実施しました。個々の利用者の状況や能力に応じてかぎ針、棒針、あやとり等と個別性を大切にしながら取り組んできました。

日程については特に定めずに居室や食堂にて実施し短時間でも楽しめる様にしました。また、感染予防対策のため、引き続き2階3階合同ではなく、各階毎に活動を実施しました。

クラブ活動実施状況

実施日	参加人数	活動内容
令和4年 4月	4名	多目的ホールにてあやとりを楽しんでいただきました。
5月	0名	業務の都合により中止
6月	1名	希望にて居室にてかぎ針にて編み物をして頂きました。
7月	0名	業務の都合により中止
8月	0名	業務の都合により中止
9月	1名	希望にて毛糸をお渡しし居室でかぎ針にて編み物をされている
10月	0名	業務の都合にて中止
11月	0名	コロナウイルス感染 クラスタ発生にて中止
12月	1名	コロナウイルス感染 クラスタ発生にて中止
令和5年 1月	0名	業務の都合により中止
2月	0名	業務の都合にて中止
3月	0名	業務の都合にて中止

16-2

【料理クラブ】

令和4年度は新型コロナウイルス感染予防策のため、3回計画していたクラブは感染状況に伴い、令和4年8月31日のみの開催となりました。

栄養課職員が中心となり、気軽に参加でき利用者の要望が多かったメニューを取り入れました。活動内容は、作業手順を説明し職員の見守りの中、自分で作った料理を食べ喜びを実感して楽しいクラブとなりました。

これからもたくさんの方々が体験できるよう工夫した内容で取り組みを進めていきます。

クラブ活動実施状況

実施日	参加人数	活動内容
令和4年 6月29日		テーマ『フルーツパフェ』 新型コロナウイルス感染症予防のため中止
令和4年 8月31日	利用者 2階 3名 3階 3名 職員 3名	テーマ『餃子』をプリンアラモードへ変更 新型コロナウイルス感染症予防のため中止
令和4年 11月30日		テーマ『フレンチトースト』 新型コロナウイルス感染症予防のため中止

16-3

【フロア装飾】

2F

装飾担当が中心となり、ご利用者様に四季を感じて頂けるような装飾品を作成しフロア内に飾り付けました。

この一年間を通して装飾品を制作するにあたり、業務間の空いた時間を有効に活用することができました。また、手作りの暖かみのある装飾品を作成できたことは担当職員以外の協力によるところが大きくあります。

活動実施状況

実施日	活動内容
令和4年4月	「こいのぼり」「菖蒲の花」「藤の花」を制作し飾り付けました。
5月	「あじさい」「傘」「風鈴」を制作し飾り付けました。
6月	「風鈴」「ひまわり」を制作し飾り付けました。
7月	夏祭りに因んだ「提灯」を制作し飾り付けました。
8月	「ぶどう」「りんご」「洋梨」「彼岸花」を制作し飾り付けました。
9月	ハロウィンに因んだ「ちょうちんおばけ」と「かぼちゃ」を制作し飾り付けました。
10月	「銀杏」と「紅葉」の壁飾りを制作し飾り付けました。 又、文化祭には過去に制作した各種装飾をまとめて展示いたしました。
11月	折り紙で「クリスマスツリー」の壁飾りを制作し飾り付けました。
12月	12月度は感染症対策実施中の為、装飾は行わずクリスマス関係の装飾を撤去するのみとしました。
5年1月	正月関係の装飾の設置及び撤去を行い、2月に設置予定の「梅の花」の製作を行いました。
2月	「梅の花」の製作を行い、フロア内に展示しました。 又、翌月に向けて「苺」の装飾の作成も行いました。
3月	「梅の花」の製作及び、展示を実施致しました。 又、翌月に向けて「苺」の装飾の作成も行いました。

3F

日にちは問わず、手が空いた時間を有効活用しフロア装飾を製作しました。限られた短い時間を利用しているため数日掛かり作業が中々進まない状態でした。

また、コロナウイルス対応の時期は全く行えませんでした。昨年度と違い、職員の手による作品となりましたが、毎月季節感を味わっていただけるような取り組みができました。

クラブ活動実施状況

実 施 日	活 動 内 容
令和4年4月	桜花飾りと桜ボール、タンポポの飾りを作成・装飾する。
5月	藤の花、ミニ鯉のぼりを作成・装飾する。
6月	紫陽花、傘の装飾を作成・装飾する。
7月	七夕飾りと提灯を作成・装飾する。
8月	ひまわりを作成・装飾する。
9月	ブドウとお月見の掲示物を作成・装飾する。
10月	柿とハロウィンの装飾を作成・装飾する。
11月	紅葉を感じられる装飾を作成・装飾する。
12月	コロナウイルス感染症対応のため、実施できず。
令和5年1月	地域の学校で作成して頂いた掲示物を掲示し、新年を感じていただけるように装飾する。
2月	雪の結晶などを装飾する。
3月	梅や桜の装飾を作成・装飾する。

16—4

【華道クラブ】

第2、第4日曜日午後から行われるホーム喫茶のテーブルに置く卓上花をホーム喫茶当日にご利用者に思い思いに生けていただいています。

今年度も昨年度に引き続き感染症対策を行いながら進めていく形となりました。第2日曜日に2階ご利用者、第4日曜日に3階ご利用者と分けることでご利用者自身が関わって満足でき、達成感を味わえるよう支援しました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止せざるを得ない時期がありご利用者には多くの制限の中での生活となりました。花があることでご利用者の心が晴れるということに改めて感じました。

活動においては花を通してご利用者同士、職員と会話をしながら楽しい時間を過ごされました。ホーム喫茶後は、各階の食堂に卓上花として飾っています。

季節に応じて各フロアの食堂のテーブルに卓上花として生け、季節を感じられるクラブ活動でした。

クラブ活動実施状況

実施日	フロア	参加人数	活動内容
令和4年 4月10日(日)	2階	6名	季節の花：ガーベラ(赤)、ユリ(白)、ユリ(黄色)、ヒペカリウム、スタンダードカーネーション(紫)、バラ(橙)の花を生け、ホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
4月24日(日)	3階	8名	季節の花：ガーベラ(ピンク)、ユリ(黄色)、カスミソウ、スタンダードカーネーション(クリーム色)、紫の花の花を生け、ホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
5月8日(日)	2階	7名	季節の花：スターチス(ピンク)、てまり草(黄緑のポンポン)、カーネーション(橙)、スタンダードカーネーション(白赤い縁)2サンデリーナ(白い縁の葉)、バーゼリアの花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
5月22日(日)	3階	6名	季節の花：バラ(赤、紫)、ユリ(白)、ヒマワリ(黄色)の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く
6月12日(日)	2階	9名	季節の花：ケイトウ(赤)、カスミソウ(白)、ヒマワリ(黄色)ブルーベリー(緑の実)、ガーベラ(赤ピンク)の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
6月26日(日)	3階	7名	季節の花：バラ(オレンジ色)、ユリ(薄桃色)、ガー

			ベラ（黄色）カスミソウ（白）の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
7月10日（日）	2階	10名	花材：バラ（オレンジ、クリーム色、赤）、リンドウ（紺色）、ヒマワリ、スプレーカーネーション（赤）、スターチス（紫）スターチス（むらさき）の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
7月24日（日）	3階	0名	感染予防のため中止。職員で花瓶に生け各フロアに飾った。
8月14日（日）		0名	感染予防のため中止
8月22日（日）		0名	感染予防のため中止
9月11日（日）	2階	7名	花材：ひまわり、カーネーション（ピンク）、ナツシロギク、マスターワート、トルコキキョウ、ヒペリカム（赤）の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
9月25日（日）		0名	感染予防のため中止
10月9日（日）	2階	7名	花材：カーネーション（ピンク）、スプレーカーネーション（黄色）、ススキ、ケイトウ（オレンジ）、リンドウ（ピンク）、ヒペリカム（ピンク）の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
10月23日（日）		0名	感染予防のため中止
11月13日（日）	2階	7名	カーネーション（ピンク、クリーム色）、キンギョソウ（黄色、白）、バラ（赤）、ガーベラ（黄色）の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
11月27日（日）		0名	感染予防のため中止
12月11日（日）		0名	感染予防のため中止
12月25日（日）		0名	感染予防のため中止
令和5年 1月8日（日）		0名	感染予防のため中止
1月22日（日）	3階	5名	花材：ムギ、あおもじ、ソリダコ、スタンダードカーネーション（ピンク）、スプレーカーネーション（オレンジ）、スイートピー（黄色、ピンク）の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
2月12日（日）	2階	7名	花材：ガーベラ（赤）、カーネーション（クリーム色）、スイートピー（ピンク）ヒペリカム（ピンクの実）、オレンジの花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂

			く。
2月26日(日)	3階	6名	花材：ガーベラ(オレンジ)、アイリス(紫)、ソリダコ、カーネーション(ピンク)、スプレーカーネーション(赤)を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
3月12日(日)	2階	6名	花材：かすみ草(白)、フリージア(黄)カーネーション(赤)、菜の花(黄)カーネーションソネット(ピンク)、スイートピー(ピンク)の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
3月26日(日)	3階	5名	花材：バラ(赤)、キンギョソウ(紫)、ユリ(ピンク)、スイー14トピー(ピンク、白、紫)、かたくりの花(紫)の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
延べ参加人数		103名	

16—5

【ボッチャクラブ】

高齢者や障がいを持つ方でも一緒に楽しめるスポーツとしてパラリンピック競技にもなったボッチャをご利用者同士の交流の場所として実施してきました。

ボッチャクラブは当初地域の方々を受入れご利用者との交流の場所として発足しましたが新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ地域の方々の受入れは出来ない状況でした。

苑内でのご利用者の QOL 向上身体機能の維持向上を目的にボッチャを実施し夏祭りにおいてはボッチャクラブでの活動を生かしたボッチャボーリングを実施しご利用者に楽しんでいただきました。

今後は社会情勢を見据えて施設として地域の方の受け入れが可能になった際には地域交流の場としてもボッチャクラブを展開していきます。

○活動実績

実施日	参加人数	活 動 内 容
4月1日(金) 15:15~16:30	11名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
4月8日(金) 15:15~16:30	14名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
4月15日(金) 15:15~16:30	12名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
4月22日(金) 15:15~16:30	13名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
5月6日(金) 15:15~16:30	12名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
5月13日(金) 15:15~16:30	12名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
5月20日(金) 15:15~16:30	11名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
5月27日(金) 15:15~16:30	13名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
6月3日(金) 15:15~16:30	12名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
6月10日(金) 15:15~16:30	12名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う

6月24日(金) 15:15~16:30	12名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
7月8日(金) 15:15~16:30	10名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
7月29日(金) 15:15~16:30	8名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
9月16日(金) 15:15~16:30	12名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
9月23日(金) 15:15~16:30	9名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
9月30日(金) 15:15~16:30	12名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
10月7日(金) 15:15~16:30	13名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
10月28日(金) 15:15~16:30	9名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
11月4日(金) 15:15~16:30	12名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
11月11日(金) 15:15~16:30	6名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
1月22日(金) 15:15~16:30	9名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
2月10日(金) 15:15~16:30	9名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
2月17日(金) 15:15~16:30	9名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
2月24日(金) 15:15~16:30	14名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
3月3日(金) 15:15~16:30	10名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
3月10日(金) 15:15~16:30	8名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
3月17日(金) 15:15~16:30	12名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
3月24日(金) 15:15~16:30	9名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う

3月31日(金) 15:15~16:30	11名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でポッチャ ゲームを行う
参加利用者数延べ		316名

16-6

【えがおクラブ】

「よく食べ、良く寝て、よく笑う。笑う門には福来る」を合言葉に笑うことに特化しイン
ドで27年前に発足した笑いヨガを取り入れえがおクラブを実施しました。

笑うことが心と身体健康維持に役立つことをお伝えしご利用者の生活の質向上のため
の活動を行いました。笑うことを体操としてとらえ、またご利用者に馴染みのある歌を合唱
することで心の健康を育むという取り組みを行いました。お琴の伴奏を職員が行うことが浸
透し苑内行事の文化祭でお琴の演奏を行うことにも繋がりました。

感染症予防策を取り活動が出来ない時期もありましたが、制限の多い生活の中で参加さ
れた利用者の笑顔を取り戻す時間となったのではないかと考えられます。

以前えがおクラブには様々な形でボランティアの方にも協力していただき活動を行って
きましたが、今年度は実施することができませんでした。今後は社会情勢を見据えて施設と
してボランティアの受け入れが可能になった際には活動の場として機能できるような活動
にしていきます。

○活動実績

実施日	参加人数	活 動 内 容
4月6日(水) 10:00~11:00	12名	ラジオ体操、笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
4月20日(水) 10:00~11:00	12名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
5月4日(水) 10:00~11:00	16名	園芸活動、笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
5月18日(水) 10:00~11:00	13名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
6月1日(水) 10:00~11:00	12名	広報誌の写真撮影、笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
6月15日(水) 10:00~11:00	12名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
7月6日(水) 10:00~11:00	16名	坂本介助員による体操、クイズ、お琴伴奏による合唱等を行う。
8月17日(水) 10:00~11:00	10名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
10月5日(水) 10:00~11:00	11名	実習生と一緒に笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。

実施日	参加人数	活 動 内 容
10月19日(水) 10:00~11:00	15名	園芸活動、笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
11月2日(水) 10:00~11:00	14名	園芸活動、笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
1月11日(水) 10:00~11:00	14名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
1月18日(水) 10:00~11:00	11名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
2月1日(水) 10:00~11:00	10名	実習生と一緒に笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
2月15日(水) 10:00~11:00	12名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
3月15日(水) 10:00~11:00	13名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
参加利用者数延べ		203名

16-7

【ホーム喫茶】

毎月第2・第4日曜日の月2回、14時から1階もしくは各階にて行いました。

ご利用者の好む季節を感じる洋菓子や和菓子を複数仕入れて用意し、ご利用者の情報を取り入れその方の食事形態に合ったものを提供していくようにしました。さらにご利用者に選ぶ楽しみを持っていただくためサイドメニューも行いました。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大のため実施出来ない期間がありました。実施できた日においても感染予防のための対策を行いどのようにしたら実施できるかを模索しながらの実施となりました。

ホーム喫茶担当の職員がメインとなり各課との連携を図り運営しています。今後もご利用者が美味しいものを召し上がり、ゆったり寛げる時間を提供していきます。

ホーム喫茶活動実施状況

実施日	参加人数	活動内容
R4年 4月10日	32名	1階職員食堂で4種類のケーキとサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
4月24日	29名	1階職員食堂で季節の和菓子とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
5月8日	35名	1階職員食堂で4種類のケーキとサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
5月22日	33名	1階職員食堂で季節の和菓子を選んで召し上がって頂きました。
6月12日	34名	1階職員食堂で4種類のケーキとサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
6月26日	29名	1階職員食堂で七夕の和菓子とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
7月10日	32名	1階職員食堂やすらぎ農園でとれたトウモロコシケーキ4種類とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
7月24日	20名	感染予防のため各フロアで和菓子を召し上がって頂きました。
8月14日	0名	新型コロナウイルス感染拡大のため中止となる。
8月28日	30名	1階職員食堂でかき氷とケーキを召し上がって頂きました。
9月11日	35名	1階職員食堂ケーキ4種類とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。

9月25日	33名	1階職員食堂で和菓子とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
10月9日	32名	1階職員食堂でケーキ4種類とサイドメニューから選んで召し上がって頂きました。
10月23日	0名	感染拡大のため中止。
11月13日	0名	感染拡大のため中止。
11月27日	0名	感染拡大のため中止。
12月11日	0名	感染拡大のため中止。
12月25日	0名	感染拡大のため中止。
R5年 1月8日	0名	感染拡大のため中止。
1月22日	34名	1階職員食堂でケーキ4種類とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
2月12日	34名	1階職員食堂でケーキ4種類とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
2月26日	31名	1階職員食堂で和菓子とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
3月12日	26名	1階職員食堂でケーキ4種類とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
3月26日	35名	1階職員食堂で和菓子とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。